

14. 4-691



1200501208076

64

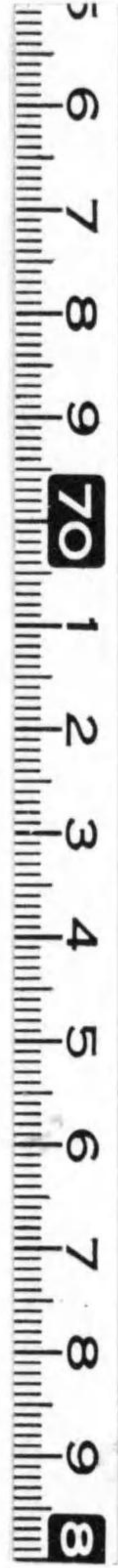
691

昭和三年三月

東京市魚市場年報

(昭和二年)

東京市役所



始



14.4-691

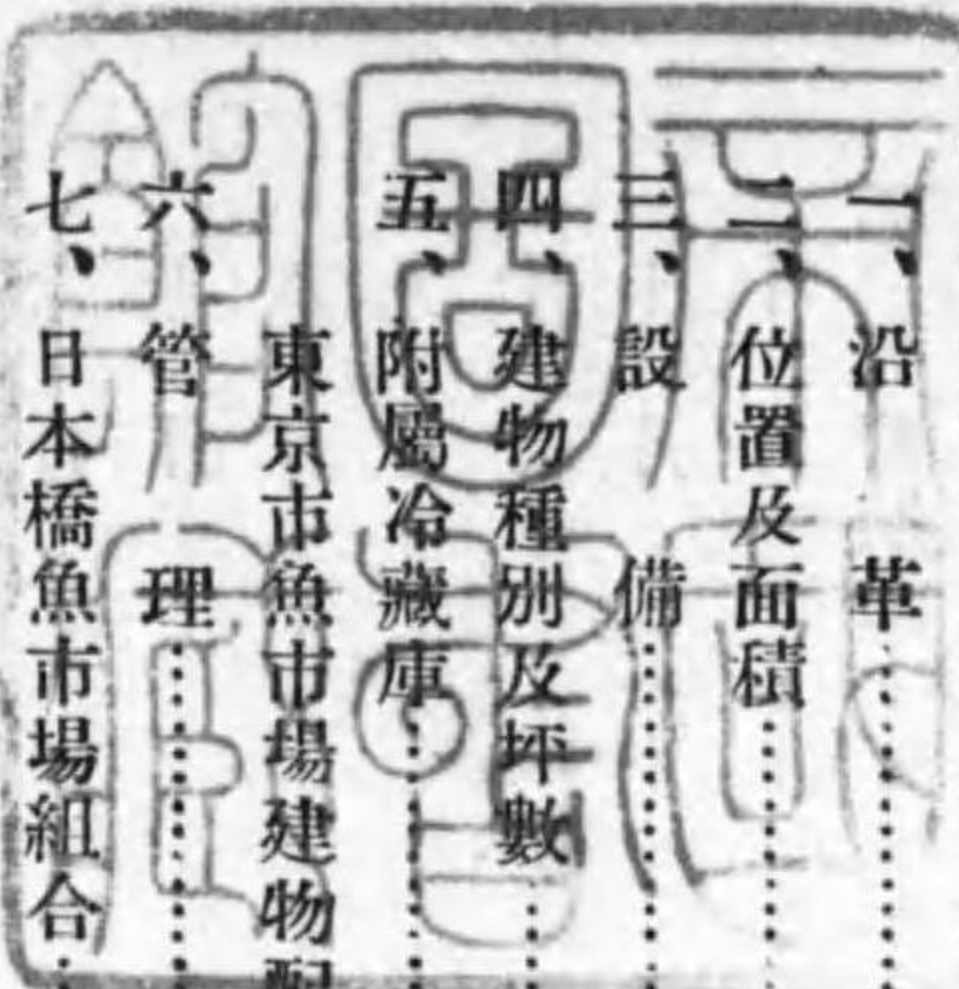
昭和二年

東京市魚市場年報

市役所寄贈本

目次

第一章 東京市魚市場	一頁	(二) 附屬運送業者	四
沿革	一	(三) 待合所營業者	四
位置及面積	一	(四) 附屬商	四
設備	一	(五) 郵便局	四
三、建物種別及坪數	二	(六) 銀行	五
四、附屬冷藏庫	二	八、市場開市時間	五
東京市魚市場建物配置圖	三	九、販賣方法	五
六、管理	三	十、買出人	五
七、日本橋魚市場組合	三	十一、衛生及取締	五
(一) 主要機關	三	(一) 汚物處分	五
(二) 問屋	三	(二) 場内洗滌	五
(三) 問屋兼仲買	三	(三) 防蠅及消毒	五
(四) 仲買	四	(四) 大掃除	五
(五) 補助機關	四	(五) 防火施設	六
(六) 小揚及輕子	四	十二、東京市魚市場日報	六
		第二章 取 引	



一、商況一斑	六	三、陸運入荷地方別四箇年比較	三
一月	七	(一) 兩國橋驛	三
二月	八	(二) 隅田川驛	四
三月	九	(三) 汐留驛	六
四月	九	四、海運入荷地方別四箇年比較	九
五月	〇	五、地方出荷數量三箇年比較	三
六月	二	六、冷蔵庫保管數量四箇年比較	三
七月	二	七、冷蔵品種類別入庫出庫數量三箇年比較	三
八月	二	八、冷蔵庫附屬製氷高四箇年比較	五〇
九月	二	九、鮮魚介相場四箇年比較	五
十月	二	(一) 近海物	五
十一月	三	(二) 活物	六
十二月	三	(三) 關西物	六
二、入荷狀況	四	(四) 三陸物	六
三、買出人數及入車數	四	(五) 北海物	六
四、地方出荷狀況	五	(六) 川魚	六
五、冷蔵庫寄託魚介狀況	五	十、鹽乾魚	六
第三章 統計	六	附 錄	六
一、入場人員及船車數四箇年比較	七	汚物搬出數量三箇年比較	六
二、入荷數量四箇年比較	九	東京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽圖	六
		目次終	

昭和二年 東京市魚市場年報

第一章 東京市魚市場

一、沿革

大正十二年九月一日の大震災で日本橋魚市場は全焼した、そこで同組合は芝區芝浦二丁目に約二千坪の敷地を借受け、同月十七日より天幕張の臨時魚市場を開設し、後更にバラック店舗七百坪を増築して、不十分なが、當時の開業者八九百名を收容し、日々入荷數量二千五百噸内外を取扱ひ入場者亦一萬人内外を算した、固より其の設備は不完全で且つ其の位置たる市の南方に偏し交通不便なるが爲め本市は同組合の請願を考慮し震災後應急施設として、海軍省より築地海軍技術研究所用地の一部を借り入れ、同年十一月六日、警視廳より食品市場開設の許可を得て、バラック店舗建設に着手し同月三十日に竣工し、日本橋魚市場組合員及附屬業者等全部を之に收容し、十二月一日開場式舉行、翌二日より營業を開始した。

二、位置及面積

京橋區築地四丁目一番地海軍技術研究所用地の一部に在り。隅田河口に臨み、海陸の運輸至便なる地域である、隅田川驛より陸路約二里十三町、汐留驛より約十町、兩國驛より水路約一里四町を距て、一萬二千五百七坪餘の廣袤を占有する。

三、設備

震災直後、適當なる材料に乏しき時建設せられたる關係上、建物構造は總て亞鉛板葺、裏板張の木造バラックである。但し冷蔵庫及氷販賣所は防熱装置とし、場内一圓混凝土を以て舗装し、汚水雨水は開渠に依り隅田河口及築地川東支川に排出せしむる。又場内縦横に口徑三寸延長三千百六十六尺の送水鐵管を埋設し、十五箇所にスタンドを設置し、汚物掃除後は、スタンドに護謨ホースを取り付け、十馬力のモーターに依りて、冷蔵庫使用後の排水に壓力を加へ、埋設鐵管を経て全市場を洗滌するの設置を爲し、水運に依る鮮魚水揚用

として、隅田河岸に沿ひ幅三間長さ九間の木造棧橋七箇客人専用として幅二間長さ七間の棧橋一箇を架設し之に七箇の棧橋見張所を附設した、各店舗其の他の營業所には間口二間毎に水道栓一箇及五十燭光電燈一燈を設置し、更に荷捌所、車置場、棧橋及通路等には、警戒交通作業の安全を期し五百燭、三百燭、百燭の街燈及建物標示燈(五十燭)等を點じて居る。

四、建物種別及坪數

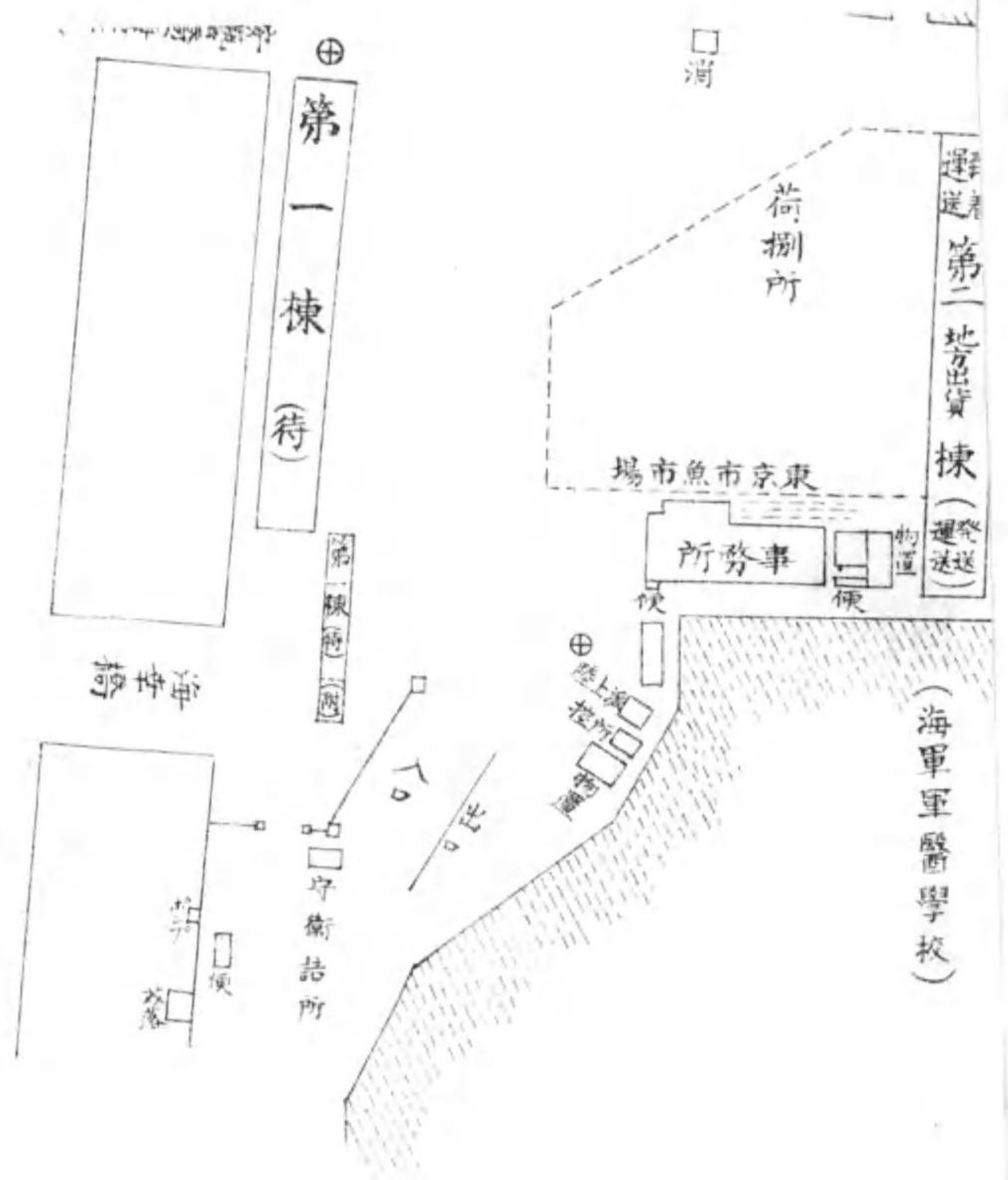
建物種別	坪數	棟數
魚類營業店舗	二、五三一坪二七	二二
待合所	三八五坪	八
附屬商店舖及食堂	一九四坪	三
發送運送荷捌用店舗及運送地方出貨營業用計算所	一六八坪	一
銀行	五〇坪	二
水販賣所	三二坪	二
鹽販賣所	八坪(ろ棟ノ内ニ設ク)	二
無料待合所、公衆食堂	一七坪	二
公設市場待合所	一六坪	一
小揚子附屬商各營業用計算所		

營業用計算所
 鹽乾倉庫同番人詰所
 小揚休所及塵芥掃除監視員夫詰所
 冷藏庫及製氷所
 冷藏庫直室浴室ボンブ室人夫室
 日本橋魚市場組合事務所
 郵便局及物置
 守衛詰所及請願巡査派出所等
 東京市魚市場事務所
 守衛直室物置兼人夫詰所浴室等
 棧橋見張所
 共同便所
 計
 外ニ公衆電話一箇所アリ

四八坪	二
八一坪五	一
一三坪五	三
二六二坪	一
一八坪六六	一
五七坪五	一
一四四坪	一
一七坪	一
九一坪	一
一二坪	一
三坪一	二
三〇坪五〇	七
四、一八〇坪〇四	八二

五、附屬冷藏庫

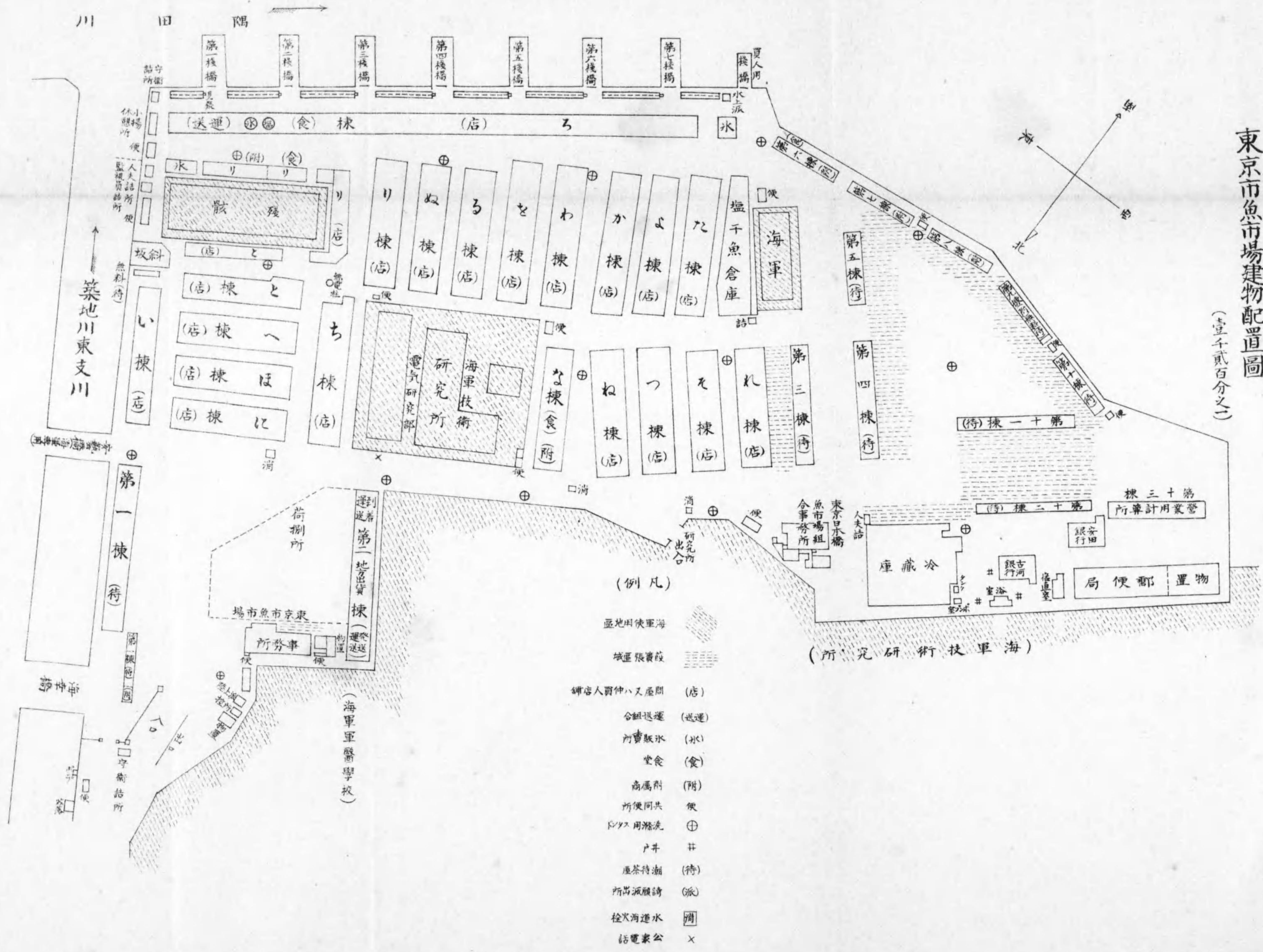
本冷藏庫は、大正十三年五月上旬起工、同年七月下旬竣工し、八月五日冷藏及製氷事業を開始した。煉瓦腰壁の木造建にして、延坪數二六二坪、此の内譯冷藏庫八〇坪、機械室三〇坪、製氷室三二坪、貯氷室二〇坪其の他六七坪、階上は凝縮室一九坪、其の他一四坪で冷藏庫及貯氷庫の各壁及床には、全部防熱装置を施し冷藏用二〇噸機、製氷用一〇噸機、何れも米國ビルタ





東京市魚市場建物配置圖

(壹千貳百分之一)



(例凡)

- 區地用使軍海 (店)
- 城區張賣設 (送運)
- 舖店人買仲ハ又屋問 (水)
- 合組送運 (食)
- 所賣販水 (附)
- 堂食 (便)
- 商属附 (⊕)
- 所便同共 (井)
- 所出派請 (待)
- 所出派請 (派)
- 檢火消道水 (溝)
- 話電家公 (x)

(海軍軍醫學校)

築地川東支川

川

隅田川

、會社製、アンモニア直接膨脹式を採用した、本庫を十二室に區劃し、其の容積三八、〇〇〇立方呎、冷却用鐵管全長二萬九千尺に達す。本庫及豫備室は華氏二十四度を標準とし、收容噸數最大限百八十噸である。製氷量は一晝夜十噸で、貯氷庫は收容噸數百二十噸である。尙凝縮機冷却用水は、二箇の堀井戸を以て之に充て一時間の所用水量約百七十石である。外に豫備として一箇の井戸を備ふる。

六、管 理

本市場は本市中央卸賣市場開設の前提であつて、震災直後應急的に設置せられたるもので、當初商工課の主管に屬し、魚市場事務所を置きて専ら現場監督に當らしめたが、大正十三年七月處務規程の改正あり東京市魚市場は獨立し、庶務、管理、調査、冷蔵庫の四係を置き、魚市場に關する一切の事項を處理し、次で大正十五年十一月職制改正の結果再び商工課の所管に復した。然れども本市は、市場に於て自ら營業を爲すにあらず、日本橋魚市場組合員をして營業せしめ、市は單に之が管理に任ずるのみである。されば日本橋魚市場組合員は、警視廳令食品市場取締規則に依り、組合規

約を作成し、本市を經由して警視廳の認可を受け、本市建築の店舗を賃借し、鮮魚及鹽乾魚等の取引に従事して居るのである。

七、日本橋魚市場組合

同組合は重要物産同業組合準則に據り組織し、役員は理事長、副理事長各一名、理事三名、監事二名、代議機關として代議員三十七名を選出す。總組合員一、二九四人である。

(イ) 主要機關

(一) 問 屋

問屋は、荷主より魚荷の委託を受け、之を仲買に賣渡す行爲を爲すもので、之に加入せんとする者は、手数料五十圓、身元保證金五百圓を組合に納入し、鑑札の交附を受くるを要す。目下問屋專業者十八名あり。委託販賣手数料は、賣上高の七分乃至一割なるも、競争激甚の爲に有名無實の場合多し。

(二) 問屋兼仲買

問屋兼仲買とは、同一人にて問屋及仲買人の納むる手数料及身元保證金を各別に組合に納入し、問屋兼仲買の鑑札を受けたるものを謂ひ、一方より荷受けを爲し

つ、一方に於ては、仲買人として一般買出人に販賣する行爲を爲す。其の數七五三名あり。本市場の取引に關する實權は多く此の階級に屬して居る。

(三) 仲 買

仲買も亦問屋と共に重要な販賣機關である。專業者五二三名、其の業務は、魚荷を問屋より受け之を一般買出人に販賣するもので、仲買專業者は、組合規約に依り直接荷主より魚荷の委託販賣を引受けることを許さない。加入手数料二十圓、身元保證金百圓を要する。

(四) 補助機關

(一) 小揚及輕子

小揚とは、魚荷の水揚及荷捌を爲し、問屋まで運ぶ者を謂ひ、輕子とは、問屋及仲買に隸屬し、仲買が買出人に賣渡せし魚介を指定の待合所に配達する者を謂ふ。此等は各別に組合を組織し、日本橋魚市場組合に附屬し、市の認可を受け營業して居る。小揚組合に屬する者二三人、輕子組合(親興組合と稱す)に屬する者五六百人内外である。

(二) 附屬運送業者

到着運送業者は、東京魚市場運送組合を組織し、各驛と當市場間の魚荷運送及場内魚荷の荷捌に従事す。組合員十八人あり、其の他地方出荷業者十四人、發送運送業者二〇人あり、近縣行き魚荷の荷作り及移出を掌る。

(三) 待合所營業者

待合所は、俗に潮待茶屋、棒手茶屋又は、單に茶屋と稱し、一定の料金を以て買出人の貨物自動車、自轉車、荷車等及其の買受けたる魚介の、輕子に依りて配達せられたるものを、取纏め保管して彼等の去來に便する機關である。從業者一九八人、其の保管料は時に増減あるけれども、貨物自動車一日一輛に就き一圓、自轉車十五錢、荷車二十錢内外である。

(四) 附 屬 商

附屬商と稱するは、場内に於て飲食物、荒物、ツマ物等を販賣する商人を謂ひ、其の種類は天麩羅、鮎、西洋料理、蕎麥、牛乳パン、汁粉、果物、鳥肉、青物、乾物、荒物、靴屋、金物屋等である、是亦附屬商組合を組織す、其の數一九九人である。

(五) 郵 便 局

場内に京橋郵便局築地分室を設け電信、郵便其他通信一般の事務を取扱ふ。

(六) 銀 行

安田及古河の二銀行出張所を設け取引に便する。

八、市場開市時間

毎日未明より正午まで、魚荷の多き時は午後一、二時に及ぶことがある。一月一日及び毎月二十二日を市場定休日とし當初から實行してゐる。

九、販賣方法

問屋對仲買間の取引も相對であり又仲買對買出人間の取引も亦相對賣買である、問屋は特約以外は賣立後直ちに荷主に送金し、仲買人は毎月計算で買出人に販賣するを例として居る。

十、買 出 人

買出人は市内及び近郊に於ける魚商、料理店、飲食店、鮎屋、蕎麥屋、天麩羅屋、辨當屋、仕出屋、棒手等多く日々の入場者一萬五千人乃至二萬人内外で遠くは横濱、八王子、千葉、浦和、前橋、高崎、水戸等より貨物自動車に乗り來る者亦少なくない。

十一、衛生及取締

(一) 汚物處分

鮮魚及鹽乾魚等の荷解に従ひ包装用繩、蓆、菰、藁、箱、屑、塵芥、其の他魚腸骨、尿尿等の汚物は衛生に密接の關係あり。忽諸に附する能はざる所から日々之を場外に搬出處分しつゝある。其の費用多額に上る。

(二) 場内 洗滌

既に構造設備の項に於て述べたる如く、送水鐵管のスタンドに護謨ホースを取付け毎日午後塵芥掃除後其の送水を利用して場内を洗滌清潔ならしめて居る。

(三) 防蠅及消毒

店舗内、路面其他を洗滌する傍ら毎日下水を浚渫し汚泥は之を場外に搬出處分し、更に河岸、下水、便所其他蠅蛆發生の虞ある場所には如露及唧筒式噴霧車に依り、クレシンを撒布する、其の量、夏時に在りては一日一斗入七罐乃至八、九罐、之を約三十倍に稀釋して消毒に使用する。

(四) 大 掃 除

毎年五月より十月に至る六ヶ月間は毎月一回づ、日本橋魚市場組合と協力し營業者總動員の上店舗内外の

大掃除を施行し以て食品市場の清潔の完璧を期し、衛生施設に努めつゝある。

(五) 防火施設

場内路面の洗滌用スタンドは、火災時防火用に兼用する。即ち非常時には布製ホースをスタンドに取付け、十馬力のモーターに依りて冷蔵庫の排水に水圧を加へて放水する。其の放水力はホースの筒先より優に約十五間の距離に達する。平常、ホースは捲車に捲き格納庫に收む。非常時格納庫より之を搬出しスタンドに取付け放水する迄に要する時間は約二分内外にて足る。又水道消火栓は場内三箇所にて設け、火災時防火用に準備する。尚夜間の取締に就ては相當の宿直員及守衛を督し徹夜之が任務に當らしめる。

十二、東京市魚市場日報

魚介類の數量、價格、商況等を調査し、「東京市魚市場日報」と題し日々五百五十枚を印刷して、荷主、問屋仲買、買出人、消費者、公設市場並關係官衙等の希望に應じ無料配布し、尚日報を取纏めたる月報、年報等を印刷して、希望者に贈與し参考に供しつゝある。

第二章 取 引

一、商況一斑

昭和二年の市況を回顧すれば大正天皇御諒開中として、市民は謹慎して只管哀悼の誠意を表した、自然料理屋向鮮魚等の取引に影響は免れなかつたが加之、三、四月の交全國的金融の恐慌に襲はれ、モラトリアム公布に依り稍々財界の安定を見なければ、數年來徐々に迫り來つた不景氣風は容易に回復せられず本年に入り更に其の度を強めた觀あり、魚類の相場は強弱高低の差はありながら、大勢は不活潑に終始した。

今年に於ける取引の重なるもの、二、三を擧ぐれば

一、マグロは刺身用として最も嗜好されて居る爲め之れが供給の多少は市況の上に著しく現はれた即ち一月より五月に至る期間の大半は、入荷順調にて相當價格を保持して居たが、肉質の變化する梅雨季に入り需要減退せる折柄三陸筋の出廻り漸次豊富となり、需給の權衡を失し、急に軟弱氣配を呈した、此の傾向は盛夏に入るに従ひ一層濃厚となり、近海産は

給状態であつた。

一、サンマの走りも年々其の時季を早める傾きあり、本年は昨年よりも約一週間早く、九月二十一日に走りの入荷を見た、其の後引き續き入荷したが漁場は遠くなり日數を經過せる爲鮮度は低下した、本年は其の特有の脂肪も不足勝ちであつた爲め、人氣を呼ばなかつた、十月初旬入荷激増し三錢前後となり惣菜物の市況を軟弱ならしめた、其の後暫くの間は期待した大漁はなかつたが十一月下旬に入りて三陸、常磐、外房州、伊豆七島方面より入荷多量に至り一尾九厘迄に下落し近海の良品も其の影響を受けた。

一 月

諒開中ながら昭和第一春を迎へた、市場の入荷及入場者等は常態であるが、商勢一般に沈み勝ちである。特に二日の初荷取引が靜肅裡に行はれたのは一入其感を深くした。

惣菜向鮮魚は、例年の如く七草過ぎの商内に多少期待されたが目立つたことなく打過ぎ、下旬に入り稍々氣配を持ち直し一般に上向商況を示した。惣菜ともなり刺身ともなる重寶なるブリは近年需要増しつゝあるが

品薄となつたが釧路産は稀なる大漁で連日市場を賑はし時に供給過剩消化難の状態を呈する事もあつた一例を擧ぐれば八月二十九日前後は、十貫目七圓に下落し一兩年に見ざる最低記録を作るに至り刺身嗜好者を喜ばした、併し秋冷より段々年末に押し迫りて品拂底を告げ豫想外の高値記録の反動があつた。

一、惣菜物中特に潤澤に供給せられた品は、近海産、及三陸産カツラ、並に之れが製品たるナマリであつた。

近海産カツラは三月下旬、清水、焼津方面よりの入荷を走りとして四月末より五月に互り、紀州、並に伊豆方面より入荷あり漸次増加し、六月の上、中旬に入りては大島、八丈島方面よりの入荷も加はりて市場氣配を軟弱ならしめ、十圓前後に低落した、其の後稀薄となつた爲め、一時上押氣配を示し七月は、近海物の外三陸物の入荷あり盛夏需要の減退の折柄近海産カツラ、十圓乃至十二圓、三陸物七、八圓内外に低落した、其の後三陸物は近海物に代りて市場を賑はし九、十月の交は特に潤澤で低廉なる品を市民に供給した、又、ナマリもカツラと同様の需

此の所出廻り少量であつたのは如何にも物足らぬ感を與へた。

タビ、ヒラメ、種物用の、エビ等は上旬より中下旬と高氣配に向つたが薄荷に依る自然の上昇で多少でも入荷纏まれば直ちに反落商狀に轉ずる氣配で、不振鈍狀は他品に比して一層甚しかつた。刺身物は品薄すであつたに拘らず、賣行不活潑であつた。就中マグロは上旬が最高で中旬は此の反動とも思はるゝ程軟化して最低となり下旬に於て、多少回復歩調を見るに至つた。

鹽乾魚類中、上總、房州産メザシの入荷連日多量であつたが輕便なる惣菜物とて澁滞を見せず消化された。鹽サケ、マス類は歳末需要の後であつたから商内平凡で格別の變化を見なかつた。尤も四日市魚市場は舊正月を祝ふ地方への搬出で、相當賑つた様であるが、當市場の鹽魚には格別の變りはなかつた。

冷凍魚介中、フリ、サケ等は日々少量ながら入荷ありサバ、タビ、芝エビ等は中旬以後に入荷あつたが、何れも面白い商狀は見られなかつた。

二月

二月七日は大正天皇御大喪儀の當日であるから、市場は休業、謹んで奉悼し、翌八日多摩御陵に御埋葬の當日は、市場は早仕舞して敬弔の意を表した。御大喪儀を劃し市民は心氣一轉の勢か其の後は稍活氣ある商況を呈する傾きがあつた。

即ち上旬に於て氣乗の薄かつた刺身用の、マグロ、カチキ類は中旬に入つて好氣配に轉じ下旬に入り多少の低落を見たが、停滞しなかつた。

タビ、サワラ、ヒラメ、アマダヒ等の上物類も略前者と同様の趨勢を示したが、入荷少量であつたから各旬とも意外な高値を呼ぶに至つた。

エビ類は近海産、クルマエビ、シバエビ等皆無にて愛知並に九州産大部分を占め高値を維持して居た爲め銚子産、ポタンエビの如き代用品が一時人氣を集めて居た。

惣菜物は御大喪儀拜觀の爲め全国各地より多數の人々上京した爲一時需要を増加したが是等の人々の歸國に伴ひ常態に復し、刺身物同様中旬に最高値を唱へたが下旬に入り大量入荷の日が連続せると共に低落し不活潑の商狀に傾いた。鹽乾魚は舊正月の供給も終り、サ

ケ、マス共に在荷拂底に拘らず商談の見るべき物がなかつた。

冷凍魚介は、サケ、イカ、タコ、カチキ、メカチキ、シバエビ等二十餘種に及び居るが、何れも普通の商内であつた。

三月

三月は一日平均入場者一萬六千四百餘人、入荷五百五十七噸であつたが、天候不順晴曇相半ばし、買人氣を挫きしに加へて、三月十五日鹽乾魚商に關係深き、渡邊銀行並にあかぢ貯蓄銀行の臨時休業を始めとし十九日には、中井銀行、同二十日は村井銀行、左右田、中澤、八十四、等の銀行休業續出の爲め、人心不安となり良好なる相場も立たぬ觀があつた。

マグロは上旬にあつては銚子、勝浦、三崎等の近海物多く特に大漁にて、供給過剰の爲め相場の低落を見たが、中旬に入りて不漁の爲め供給不足を來し意外な高値商狀を現出し相當客人を惱したが、下旬土佐物の入荷と共に供給不足を補ひ相場漸落するに至つた。

惣菜物は相場の高低も區々であつたが、大勢は軟弱商内の範圍を出なかつた。近海産ボラ、ムツ、フリ等は

下押商狀となり、三陸産メヌキ、ムキサメ類は、入荷の減少と共に需要も減じ軟弱氣配であつた。

長崎及下關仕出の、レンコタビ、チコタビは入荷僅少であつた爲め屢々突飛な高値を呼び、波瀾に富んだ商況であつた。

近海産、タビ類は節旬の需要もさしたることなく、大タビ、中タビは一割方軟化し、小タビ、カスコタビ等がレンコタビ稀薄の餘波を受け保合商狀であつた。種物中、サヨリはいくらか多量に出廻つて居たが、コハタ等の不足の爲め上昇し、エビ類、ハシラ、タヒラ貝等の天種も品薄の爲め上押商内となつた。

鹽サケは舊正月を送り品拂底であつたから、却て地方より呼荷して商内する有様であつた。

冷凍魚介は、サケ、イカ、芝エビ、メカチキ等引續き入荷あり、イカは平均一尾六錢内外、サケは十貫目十圓乃至十五圓五十錢程度の相場であつた。

四月

四月は花に汐干に人の心を浮き立たせる好時節であるから、市場は自ら活氣を呈して來たが、近海各濱大漁の爲入荷増加、相場は漸次下押となつた特に、中下旬

の交銀行の取付全國に波及し金融界未曾有の恐慌を呈し、政府は二十二日私法上の金銭債務支拂延期及手形等の權利保存行爲の期間延長に關する勅令を公布し内地に限り施行せられたが魚市場取引には大なる影響を受くるに至らなかつたのは仕合せであつた、近海産、大タヒは中旬に入り房總方面近年稀なる大漁であつた爲、惣菜物同様な廉價となり消費者を喜ばしたが、下旬に入り再び上騰し相場普通となつた。

近海産、カツラ、フリ、トビウヲ、アチ等一般家庭向惣菜物は多量入荷あり何れも漸落商況であつたから、三陸産、マス、メヌキ、北海産、カレヒ、赤カレヒ、トロール物の、レンコタヒ、エビスタヒ等の魚類迄其の餘波を受けて下押商況を呈した。刺身物は中旬頃、一時高値となつたが下旬に入り東海筋に於て大漁のメチ入荷の爲め人氣を弱め下押氣配となつた。

鹽乾魚は相變らず閑散状態を繼續して居たが、月半ばより北海産、身缺ニシンの入荷あり幾分景氣を持つに至つた。冷凍魚は、カチキ、イカ、サケ等が主なるもので、サ

ケの高値に反し、イカは販賣中氷結融解して外觀を損ずる爲下押商況であつた。

五月

入荷は陸運、海運、冷凍魚共多少減少し、入場者亦減退した爲め依然軟弱商況に終始した、但し支拂延期令満期の十三日以後も財界は警戒氣分濃厚であつて、魚市場も幾分の影響は免れなかつた、マダロは近海遠海共に入荷薄にて漸次高値を現はし、キワダ、メバチ、メチ等もマダロに引きづられて上押氣味に向つたが、一時の現象で賣行は不振であつた。

惣菜物は逐日入荷が増加して來た爲め下押商況に變つて來た、即ち、イワシの五割安を筆頭として、フリ、トビウヲの三割安、カツラ、レンコタヒの二割安等を始め、各品とも、下押商況となつた。

タヒは銚子常磐産の外に能代産、トロール物等の入荷あり是亦一割乃至一割五分方下落した。製造品に於ては、焼チクワの入荷減少に引き替へ焼津並に清水産ナマリ増加し北海産、身缺ニシンも多量に出廻り下押商況であつた。川魚類は、ウナギ、コヒの養殖物及び、ドゼウ等も入

荷を増加して來たが、季節前の事ゆゑ活潑の取引きを見るに至らなかつた。

六月

梅雨季節のことゝて兎角鮮魚需用減退の傾きあり、市況は不振の状態であつた。マダロは初旬品薄にて相當高値を呼んだが、梅雨季は肉軟くなり、味も落ちた爲需用を減じ相場は低落した。中旬より下旬に互りては三陸物の入荷増加するに従ひ一層下押商況を呈した。惣菜物は多量に出廻りながら賣行は澁滞した爲、近海産、アチ、イサキ、關西産、レンコタヒ、ヒラメ等、約二割五分乃至、三割の下落を見た。

種物類中エビ、アナゴ等著しく低落したが、アワビは需要季に入り活魚と共に高値に取引せられた。川魚類のドゼウ、コヒ等は多少づゝ入荷増加あり、本月一日解禁の、アユは各産地共昨年より品薄高價で賣行き溢り勝ちであつた。鹽乾魚は、マス、及、ラシヤマス等弗々入荷したが、鹽物が永らく拂底して居た時であつたから、比較的活潑な商況を見せた。

七月

七月の市場を通觀するに、青森、鹽釜等一、二、増加

した地方を除き他の産地は一般に出廻り薄くなつた。而して消費状態は入梅明けより氣温の上昇著しく、食欲減退の折柄避暑旅行及學生の歸省等帝都を去る人々多く消費力減少した爲入荷薄も何等の反動なく、軟弱なる商況であつた。

マダロは、上旬鹽釜、釜石、氣仙沼産等大部分を占め下旬に至りては北海道より大量の入荷を見たが、季節の關係上肉質は不味にて需用少なく遂に八、九圓臺に下落する商況を呈した。

惣菜物は樺太並、露領産マス、三陸産フリ、カツラ、小イカ、關西産アチ等皆低落した、就中盃蘭盆の前後より稀なる暑氣の襲來に依り一層不振商況を呈した。ナマリは焼津、清水方面のもの品薄となり三陸産の入荷潤澤であつたが相場は軟弱であつた。

ドゼウ、ウナギは一年中の書入れ月なるだけに需給共に増加し殊に二十一日の土用入より、三十日の丑の日迄では順次高價に達し活潑なる賣行を見せた。

鹽乾魚の取引は、中旬カムサツカ産新巻サケの走り物入荷あり鹽物の品薄であつた爲、需用喚起され良好な賣行であつた。

八月

八月は暑氣強く鮮魚需要は著しく減少し閑散商況を辿る外なかつたが、一日横濱に入港した英船、アドラスマス號よりコレラ患者發生し一時は非常に憂慮せられたが、幸に蔓延を防止し大事に至らなかつた爲、市況に大影響を受けなかつたのは仕合であつた。
近海産マダロは、殊の外薄漁であつたが北海産及、三陸産等何れも大漁にて供給過多と思はるゝ日も見受けしたが、相場低廉であつたから滞りなく消化された。
惣菜物は是亦不振商況であつた。活魚のタヒ、ヒラメ、クロタヒ、カレヒ、コチ等は暑中向の品であるから相當取引された。ドゼウ、ウナギ等は尙可成りの荷動きを示したが中、下旬と漸次入荷が減少した。
鹽物は露領産冷蔵新巻サケ、改良サケ等次第に入荷を増し自然に相場は下押氣配を示した。

九月

閑散の八月を送り九月二日及、十二日の厄日も無難に經過し需用も初秋らしい生氣を呈して來た刺身用の、マダロは釜石、釧路産を主とし月末頃は、エトロフ産も入荷あり、カチキは近海産、三陸産の入荷が大部分に下押氣配となつた。マダロは上、中旬とも需給適度にて相場は保合商況であつたが下旬は品薄となり上昇した。
北見及根室産、新巻サケ並に、カムサツカ産、冷蔵新巻サケ等は保合。
スルメは新物の出廻り期節である爲幾分軟調を示したが、不景氣の反映にて高値の改良スルメよりは並品の方が賣行良かつた。
三陸産、無頭タラは新荷早々の事として人氣を呼び、チクワも逐日入荷を増加しながら良好な人氣であつた。

十月

本月は明治節、新嘗祭等の大祭日を始め、吉例の七五三、一の酉、二の酉等の祝ひ日等あり、入場者は増加し良好な商況であつた。
マダロは三陸産が入荷の大部分を占め、室蘭、函館産も時折見受けたが次第に品薄を告げて來た爲、四、五割方も上騰した。カチキは近海産、臺灣産等の入荷を見たが近海産は、三割方上昇し臺灣物も多少ながら上向商況を示した。
タヒ類は祝ひ日の多かつた割に人氣引立たなかつたが

を占め何れも市民の需用を促し好氣配に轉じて來た。
惣菜物は遠近各濱とも順調の入荷あり、就中、近海のアチ、サバ、トビウチ、關西の、レンコタヒ、アチ、三陸の、カツラ、小イカ、北海の、サケ、マス等は堅實な商内の進捗を見た。
種物の、エビ類は次第に需用を増し之亦近海關西とも相場は上昇した。
活魚並に川魚類は既に需要の旺季を經過せしこととて緩慢なる下落商況を呈した。
鹽サケ、鹽マス等の市況は鮮魚の氣配良好なる日賣行進捗し、不振なる日は亦不振となり勝ちで、兎角鮮魚に追隨氣味であつた。

十一月

各地共追々漁季に入り魚荷は潤澤に搬入せられ、需給の調節上遺憾なきを得た。
サンマは三陸並に常磐筋より多量に入荷し、各種惣菜物は、サンマの市況に左右せられた觀があつた。
カチキは、上旬近海及三陸物とも品薄にて高値商況であつたが中、下旬に入るに従ひ近海産の入荷増加し來ると同時に、長崎並に臺灣産等も出廻つて來た爲次第

之に反して、レンコタヒは多量の入荷も比較的容易に消化され相場は保合であつた。
本月はサンマ月と云はれる丈けに、サンマの入荷多く三陸、常磐は素より房州方面よりも多量に入荷し、相場下落一般に市民を潤した。
アチ、ス、キ、イサキ等季節外の物は自然人氣も薄く軟弱氣配であつたが、近海を始め各地より入荷した、フリ、サバ、イワシ、三陸並に北海方面の、メヌキ、イカ、カレヒ等はさしたる澁滞もなく捌れて居た。
各地産新巻サケ、タツケリ、スルメ等は年末の需用期を控へて居る爲何れも手堅く、無頭鹽タラ、タラ子、チクワ、開サンマ等は多量なりし爲次第に相場下押し

十二月

十二月は例年の通り魚荷入場者共漸増し、師走らしい商況を呈して來た。
今春以來休業して居た銀行も、二、三、開店するに至り預金者の憂慮を幾分緩和した傾きがあり、又官吏會社員等の書入月であるから不景氣に脅されながら多少景氣を添へた觀あり、相場は品に依りて一定せぬが稍

順調なる商内の進捗を見た。

刺身物の大部分は近海産、臺灣産であつたが、品薄なりし爲一般の需要を充たすに足らず次第に糶り上げられ、中旬は多少停頓の氣味もあつたが、下旬は歳末の需要旺盛なるに反し供給之に伴はず豫想外の高値を見るに至つた。

惣菜向の各鮮魚も、上旬は先づ中位の商狀を示したが中旬は歳暮贈答品等の購入其の他年末に際しての出費を見越し、鮮魚等の日用品は控へ氣味であつたから一般に軟弱氣配であつたが、下旬は急に歳末氣分濃厚となり相應の賣行を見るに至つた。新巻サケは、關東地方に於て歳暮贈答品として、最も歡迎せられ多量に需要ある爲、三場所物、根室物、日高物等の優良品は早くも、中旬に於て出拂ひ、下旬に入りては並品にて需要に應ぜし位にて相場の上昇は阻止されたが、製品の大部分は年内に賣り盡され春高氣配を豫想せられた、カツノコ、タツクリ等も例年に比して製品少量なりし爲、上、中旬に於て極上品は品切れとなり、最も需要せらるゝ下旬は、新巻サケ同様次品が多かつた爲上昇氣配の取引を見ながらも、上、中旬に於ける上品の相

場を凌駕する事は出来なかつた。

二、入荷狀況

昭和二年の入荷總量は實に二十二萬千餘噸に達し一日の最大入荷は一月二日の初荷で一千三百八十九噸最少入荷は七月二十四日の二百八十九噸にして一日平均入荷六百三十噸に上り前年に比し總量に於て二萬三千餘噸一日平均に於て六十九噸の増加に當る、更に之を陸運及海運別とすれば鐵道輸送並に生産地直送自動車による數量は大正十五年に比し二萬六千七百餘噸を増加し海運に依り直接發動機船、汽船及小舟により搬入せられた魚荷は反て三千百餘噸を減じたるも結局總數量に於て一割餘の増加を示した。

蓋し鐵道に依る魚荷の激増は隅田川驛着並に汐留驛着の増加に因るが就中常磐地方イワシの豐漁は連月に互り三陸の秋季に於けるカツラの豐漁等其の一因と認めらるゝ、又八月頃より樺太及カムサツカ産鹽サケ、鹽マス、十一月十二月は無頭鹽タラ類が函館を中繼として入荷せしも亦増加の一因である。

兩國橋驛着の魚荷は昨年比し稍々減少の氣味であつたが直接貨物自動車を利用し運搬せる數量を加算する

ときは幾分増加し是亦漁獲の順調を窺ふ事が出来る。

昭和二年中に於て魚荷搬入の新方法として注目せらるゝは房總地方より直接貨物自動車を利用するに至りたることである。即ち十月以降自動車六百二十六臺に依り、運搬せられた魚荷は八百五十六噸に上り日尚ほ淺きに拘らず相當の成績を挙げ今後一層利用増加の傾向を示した。

生産地直航の船舶による魚荷を一瞥するに其の隻數大正十五年に一萬二千二百餘隻のもの昭和二年は、一萬二千百餘隻に減じた。之れが船舶別に就いて見るに小舟の如き昨年の三千五百餘隻に對し、今年は八百隻を増加して四千三百餘隻となりたるが、總隻數に於て七十四隻の減少を見たるは蓋し發動機船及東京灣汽船の入船數の減少に依る。

發動機船に依る入荷は昨年の二萬七千六百餘噸に對し二萬八千五百餘噸即ち約九百噸の増加を示した、之れ三崎、伊豆等より魚を運搬する小型發動機船が不漁の爲め減少せるに反し北海道並に三陸地方に於けるマグロ漁は昨年の大漁を凌ぎたる豐漁に遭遇し之れを積載し來る大型發動機船の増加に依る又伊豆、三崎、房州

通ひの東京灣汽船會社の取扱ひ魚荷は大正十五年の三萬一千七百餘噸に對し本年は約四千二百噸の減少を呈し自然入船回數を減じだものと思はる。

三、買出人數及入車數

買出人數は市場開設以來逐年増加し、大正十五年總數五百九十萬八千餘人に比し本年は六百七十六萬二千餘人を算し、八十五萬四千餘人を増加した。

本年に於ける最大入場者は十二月三十日の二萬八千二百七十八人で其の最は二月六日の一萬二千九百餘人である。而して一日平均入場者は一萬九千二百餘人これを前年に比すれば、二千四百餘人を増加した、更に各月に於て最も多數の入場者を見たるは、十二月の六十八萬九千餘人其の最少は二月の四十一萬五千餘人一日平均一萬五千九百餘人である。貨物自動車は本年二十四萬七千七百餘臺にして、前年に比し七萬二千三百餘臺の増車をなし、手車は前年より五千百臺を減じ、自轉車(リヤーカーを含む)は本年百四十萬五千餘臺で前年より二十九萬六千餘臺の増加である。

四、地方出荷狀況

地方出荷とは一度當市場に搬入せられたる魚荷を取引

後碎氷を加へ荷作の上之れを直接消費地に送るものと市内各驛より近縣に積出さるゝもの、總稱である、而して隅田川驛及上野驛經由のものは、長野、新潟、富山、栃木、宮城縣等、上野驛及千住驛經由のものは茨城、福島縣等、兩國橋驛經由は千葉縣、飯田町驛及新宿驛經由は山梨、長野縣、汐留驛經由は神奈川、静岡縣等、池袋驛經由は埼玉縣を主とし淺草驛經由は群馬、栃木、埼玉等の諸縣であり又消費地直送は埼玉、群馬縣等に仕向けらる。其の積出數量の約八割は鮮魚で、二割は鹽乾魚である。而して昨年の比率と異なるはサシ薄漁の爲め鹽サシマの出荷減少に起因する。出荷數量は大正十五年に於て二萬五千四百餘噸のもの本年は二萬五千九百餘噸即ち約五百噸を増加した。今出荷數量と總入荷數量とを對照するに昨年は約一割二分九厘に當り本年は約一割一分七厘の割合を示した。

五、冷蔵庫寄託魚介狀況

大正十五年冷蔵庫寄託件數五萬七千餘件で、其の數量は八千三百餘噸本年は六萬二千八百餘件七千九百餘噸である。元來本市場に入荷せる鮮魚介類の大部分は當日上場消化せられ、市設冷蔵庫に保管を依頼するも

のは商機を待ちつつ寄託をなすが如きこと尠なく、多くは其の日に賣殘されたる魚荷に對し利用せられ、稀には買出人が買取りたる魚荷の保管を依頼する、此の意味に於て前記冷蔵庫取扱件數に於て約五千七百件増加せしに反して數量の四百餘噸減少に依つても知ることが出来る。件數の増加は多數の人々に利用せらるるを證すべく、又收容噸數の減退は市場附近に私營冷蔵庫設立、競争の結果、寄託者は纏りし魚は彼に寄託せらるるに依るものと推せらる。市設冷蔵庫の寄託魚荷を總入荷に對比すれば、大正十五年に於て四分二厘本年は三分六厘に當る此の減少は前記の理由に基くものである。

第三章 統計

一、入場人員及船車數四箇年比較

年 月 別	入場者數		自動車數		自轉車數		手 車 數		發動機船數		解 數		小 舟 數		汽 船 數	
	合 計	平 均	合 計	平 均	合 計	平 均	合 計	平 均	合 計	平 均	合 計	平 均	合 計	平 均	合 計	平 均
大正十三年一月	三九〇、〇〇〇	一三、〇〇〇	二、六六六	九、〇〇〇	三、五八〇	一、二六六	一、五二〇	一、五二〇	二、四二五	一、〇五五	一、〇五五	一、〇五五	三、三三三	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十四年一月	四三三、六五六	一四、九二九	三、三三三	一〇、〇〇〇	四、〇〇〇	一、三三三	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十五年一月	四七〇、七二五	一六、二二二	三、三三三	一〇、〇〇〇	四、〇〇〇	一、三三三	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十三年二月	三七六、〇八九	一三、四三三	八、三三四	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十四年二月	三九五、五一二	一四、六四九	二、七六一	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十五年二月	四一五、〇四七	一五、九六三	二、七六一	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十三年三月	四四九、三八七	一四、九八〇	一〇、六三四	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十四年三月	五二一、八一七	一七、三九四	三、六五五	一〇、〇〇〇	四、〇〇〇	一、三三三	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十五年三月	四九七、〇四五	一六、八八二	二、九二二	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十三年四月	四八七、八九一	一六、八二五	二、九二二	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十四年四月	四八九、三七五	一六、八二五	二、九二二	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十五年四月	五六一、七六六	一九、三七一	三、〇〇〇	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十三年五月	四七五、六三三	一五、二三四	二、五九四	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十四年五月	五〇八、〇七二	一六、九三四	二、五九四	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
大正十五年五月	五〇八、〇七二	一六、九三四	二、五九四	九、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇

種別	年	陸		海	
		車數	噸	隻	噸
一月	大正十三年	一四、四八八	一〇、九四九	六、七三三	三、四八六
	大正十四年	一五、六七〇	一一、二七七	七、五九九	三、四八六
昭和十五年	一六、八三三	一二、九八二	九、〇〇〇	三、四八六	
昭和十六年	一八、〇〇〇	一四、六六五	一一、三三三	三、四八六	
昭和十七年	一九、二〇〇	一六、三三三	一二、六六六	三、四八六	
昭和十八年	二〇、四〇〇	一八、〇〇〇	一四、〇〇〇	三、四八六	
昭和十九年	二一、六〇〇	一九、二〇〇	一五、二〇〇	三、四八六	
昭和二十年	二二、八〇〇	二〇、四〇〇	一六、四〇〇	三、四八六	
昭和二十一年	二四、〇〇〇	二一、六〇〇	一七、六〇〇	三、四八六	
昭和二十二年	二五、二〇〇	二二、八〇〇	一八、八〇〇	三、四八六	
昭和二十三年	二六、四〇〇	二四、〇〇〇	二〇、〇〇〇	三、四八六	
昭和二十四年	二七、六〇〇	二五、二〇〇	二一、二〇〇	三、四八六	
昭和二十五年	二八、八〇〇	二六、四〇〇	二二、四〇〇	三、四八六	
昭和二十六年	三〇、〇〇〇	二七、六〇〇	二三、六〇〇	三、四八六	
昭和二十七年	三一、二〇〇	二八、八〇〇	二四、八〇〇	三、四八六	
昭和二十八年	三二、四〇〇	三〇、〇〇〇	二六、〇〇〇	三、四八六	
昭和二十九年	三三、六〇〇	三一、二〇〇	二七、二〇〇	三、四八六	
昭和三十年	三四、八〇〇	三二、四〇〇	二八、四〇〇	三、四八六	
昭和三十一年	三六、〇〇〇	三三、六〇〇	二九、六〇〇	三、四八六	
昭和三十二年	三七、二〇〇	三四、八〇〇	三〇、八〇〇	三、四八六	
昭和三十三年	三八、四〇〇	三六、〇〇〇	三二、〇〇〇	三、四八六	
昭和三十四年	三九、六〇〇	三七、二〇〇	三三、二〇〇	三、四八六	
昭和三十五年	四〇、八〇〇	三八、四〇〇	三四、四〇〇	三、四八六	
昭和三十六年	四二、〇〇〇	三九、六〇〇	三五、六〇〇	三、四八六	
昭和三十七年	四三、二〇〇	四〇、八〇〇	三六、八〇〇	三、四八六	
昭和三十八年	四四、四〇〇	四二、〇〇〇	三八、〇〇〇	三、四八六	
昭和三十九年	四五、六〇〇	四三、二〇〇	三九、二〇〇	三、四八六	
昭和四十年	四六、八〇〇	四四、四〇〇	四〇、四〇〇	三、四八六	
昭和四十一年	四八、〇〇〇	四五、六〇〇	四一、六〇〇	三、四八六	
昭和四十二年	四九、二〇〇	四六、八〇〇	四二、八〇〇	三、四八六	
昭和四十三年	五〇、四〇〇	四八、〇〇〇	四四、〇〇〇	三、四八六	
昭和四十四年	五一、六〇〇	四九、二〇〇	四五、二〇〇	三、四八六	
昭和四十五年	五二、八〇〇	五〇、四〇〇	四六、四〇〇	三、四八六	
昭和四十六年	五四、〇〇〇	五一、六〇〇	四七、六〇〇	三、四八六	
昭和四十七年	五五、二〇〇	五二、八〇〇	四八、八〇〇	三、四八六	
昭和四十八年	五六、四〇〇	五四、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三、四八六	
昭和四十九年	五七、六〇〇	五五、二〇〇	五一、二〇〇	三、四八六	
昭和五十年	五八、八〇〇	五六、四〇〇	五二、四〇〇	三、四八六	
昭和五十一年	六〇、〇〇〇	五七、六〇〇	五三、六〇〇	三、四八六	
昭和五十二年	六一、二〇〇	五八、八〇〇	五四、八〇〇	三、四八六	
昭和五十三年	六二、四〇〇	六〇、〇〇〇	五六、〇〇〇	三、四八六	
昭和五十四年	六三、六〇〇	六一、二〇〇	五七、二〇〇	三、四八六	
昭和五十五年	六四、八〇〇	六二、四〇〇	五八、四〇〇	三、四八六	
昭和五十六年	六六、〇〇〇	六三、六〇〇	五九、六〇〇	三、四八六	
昭和五十七年	六七、二〇〇	六四、八〇〇	六〇、八〇〇	三、四八六	
昭和五十八年	六八、四〇〇	六六、〇〇〇	六二、〇〇〇	三、四八六	
昭和五十九年	六九、六〇〇	六七、二〇〇	六三、二〇〇	三、四八六	
昭和六十年	七〇、八〇〇	六八、四〇〇	六四、四〇〇	三、四八六	
昭和六十一年	七二、〇〇〇	六九、六〇〇	六五、六〇〇	三、四八六	
昭和六十二年	七三、二〇〇	七〇、八〇〇	六六、八〇〇	三、四八六	
昭和六十三年	七四、四〇〇	七二、〇〇〇	六八、〇〇〇	三、四八六	
昭和六十四年	七五、六〇〇	七三、二〇〇	六九、二〇〇	三、四八六	
昭和六十五年	七六、八〇〇	七四、四〇〇	七〇、四〇〇	三、四八六	
昭和六十六年	七八、〇〇〇	七五、六〇〇	七一、六〇〇	三、四八六	
昭和六十七年	七九、二〇〇	七六、八〇〇	七二、八〇〇	三、四八六	
昭和六十八年	八〇、四〇〇	七八、〇〇〇	七四、〇〇〇	三、四八六	
昭和六十九年	八一、六〇〇	七九、二〇〇	七五、二〇〇	三、四八六	
昭和七十年	八二、八〇〇	八〇、四〇〇	七六、四〇〇	三、四八六	
昭和七十一年	八四、〇〇〇	八一、六〇〇	七七、六〇〇	三、四八六	
昭和七十二年	八五、二〇〇	八二、八〇〇	七八、八〇〇	三、四八六	
昭和七十三年	八六、四〇〇	八四、〇〇〇	八〇、〇〇〇	三、四八六	
昭和七十四年	八七、六〇〇	八五、二〇〇	八一、二〇〇	三、四八六	
昭和七十五年	八八、八〇〇	八六、四〇〇	八二、四〇〇	三、四八六	
昭和七十六年	九〇、〇〇〇	八七、六〇〇	八三、六〇〇	三、四八六	
昭和七十七年	九一、二〇〇	八八、八〇〇	八四、八〇〇	三、四八六	
昭和七十八年	九二、四〇〇	九〇、〇〇〇	八六、〇〇〇	三、四八六	
昭和七十九年	九三、六〇〇	九一、二〇〇	八七、二〇〇	三、四八六	
昭和八十年	九四、八〇〇	九二、四〇〇	八八、四〇〇	三、四八六	
昭和八十一年	九六、〇〇〇	九三、六〇〇	八九、六〇〇	三、四八六	
昭和八十二年	九七、二〇〇	九四、八〇〇	九〇、八〇〇	三、四八六	
昭和八十三年	九八、四〇〇	九六、〇〇〇	九二、〇〇〇	三、四八六	
昭和八十四年	九九、六〇〇	九七、二〇〇	九三、二〇〇	三、四八六	
昭和八十五年	一〇〇、八〇〇	九八、四〇〇	九四、四〇〇	三、四八六	
昭和八十六年	一〇二、〇〇〇	九九、六〇〇	九五、六〇〇	三、四八六	
昭和八十七年	一〇三、二〇〇	一〇〇、八〇〇	九六、八〇〇	三、四八六	
昭和八十八年	一〇四、四〇〇	一〇二、〇〇〇	九八、〇〇〇	三、四八六	
昭和八十九年	一〇五、六〇〇	一〇三、二〇〇	九九、二〇〇	三、四八六	
昭和九十年	一〇六、八〇〇	一〇四、四〇〇	一〇〇、四〇〇	三、四八六	
昭和九十一年	一〇八、〇〇〇	一〇五、六〇〇	一〇一、六〇〇	三、四八六	
昭和九十二年	一〇九、二〇〇	一〇六、八〇〇	一〇二、八〇〇	三、四八六	
昭和九十三年	一一〇、四〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇四、〇〇〇	三、四八六	
昭和九十四年	一一一、六〇〇	一〇九、二〇〇	一〇五、二〇〇	三、四八六	
昭和九十五年	一一二、八〇〇	一一〇、四〇〇	一〇六、四〇〇	三、四八六	
昭和九十六年	一一四、〇〇〇	一一一、六〇〇	一〇七、六〇〇	三、四八六	
昭和九十七年	一一五、二〇〇	一一二、八〇〇	一〇八、八〇〇	三、四八六	
昭和九十八年	一一六、四〇〇	一一四、〇〇〇	一〇九、〇〇〇	三、四八六	
昭和九十九年	一一七、六〇〇	一一五、二〇〇	一一〇、二〇〇	三、四八六	
昭和百年	一一八、八〇〇	一一六、四〇〇	一一一、四〇〇	三、四八六	

種別	年	陸		海	
		車數	噸	隻	噸
一月	大正十三年	一四、四八八	一〇、九四九	六、七三三	三、四八六
	大正十四年	一五、六七〇	一一、二七七	七、五九九	三、四八六
昭和十五年	一六、八三三	一二、九八二	九、〇〇〇	三、四八六	
昭和十六年	一八、〇〇〇	一四、六六五	一一、三三三	三、四八六	
昭和十七年	一九、二〇〇	一六、三三三	一二、六六六	三、四八六	
昭和十八年	二〇、四〇〇	一八、〇〇〇	一四、〇〇〇	三、四八六	
昭和十九年	二一、六〇〇	一九、二〇〇	一五、二〇〇	三、四八六	
昭和二十年	二二、八〇〇	二〇、四〇〇	一六、四〇〇	三、四八六	
昭和二十一年	二四、〇〇〇	二一、六〇〇	一七、六〇〇	三、四八六	
昭和二十二年	二五、二〇〇	二二、八〇〇	一八、八〇〇	三、四八六	
昭和二十三年	二六、四〇〇	二四、〇〇〇	二〇、〇〇〇	三、四八六	
昭和二十四年	二七、六〇〇	二五、二〇〇	二一、二〇〇	三、四八六	
昭和二十五年	二八、八〇〇	二六、四〇〇	二二、四〇〇	三、四八六	
昭和二十六年	三〇、〇〇〇	二七、六〇〇	二三、六〇〇	三、四八六	
昭和二十七年	三一、二〇〇	二八、八〇〇	二四、八〇〇	三、四八六	
昭和二十八年	三二、四〇〇	三〇、〇〇〇	二六、〇〇〇	三、四八六	
昭和二十九年	三三、六〇〇	三一、二〇〇	二七、二〇〇	三、四八六	
昭和三十年	三四、八〇〇	三二、四〇〇	二八、四〇〇	三、四八六	
昭和三十一年	三六、〇〇〇	三三、六〇〇	二九、六〇〇	三、四八六	
昭和三十二年	三七、二〇〇	三四、八〇〇	三〇、八〇〇	三、四八六	
昭和三十三年	三八、四〇〇	三六、〇〇〇	三二、〇〇〇	三、四八六	
昭和三十四年	三九、六〇〇	三七、二〇〇	三三、二〇〇	三、四八六	
昭和三十五年	四〇、八〇〇	三八、四〇〇	三四、四〇〇	三、四八六	
昭和三十六年	四二、〇〇〇	三九、六〇〇	三五、六〇〇	三、四八六	
昭和三十七年	四三、二〇〇	四〇、八〇〇	三六、八〇〇	三、四八六	
昭和三十八年	四四、四〇〇	四二、〇〇〇	三八、〇〇〇	三、四八六	
昭和三十九年	四五、六〇〇	四三、二〇〇	三九、二〇〇	三、四八六	
昭和四十年	四六、八〇〇	四四、四〇〇	四〇、四〇〇	三、四八六	
昭和四十一年	四八、〇〇〇	四五、六〇〇	四一、六〇〇	三、四八六	
昭和四十二年	四九、二〇〇	四六、八〇〇	四二、八〇〇	三、四八六	
昭和四十三年	五〇、四〇〇	四八、〇〇〇	四四、〇〇〇	三、四八六	
昭和四十四年	五一、六〇〇	四九、二〇〇	四五、二〇〇	三、四八六	
昭和四十五年	五二、八〇〇	五〇、四〇〇	四六、四〇〇	三、四八六	
昭和四十六年	五四、〇〇〇	五一、六〇〇	四七、六〇〇	三、四八六	
昭和四十七年	五五、二〇〇	五二、八〇〇	四八、八〇〇	三、四八六	
昭和四十八年	五六、四〇〇	五四、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三、四八六	
昭和四十九年	五七、六〇〇	五五、二〇〇	五一、二〇〇	三、四八六	
昭和五十年	五八、八〇〇	五六、四〇〇	五二、四〇〇	三、四八六	
昭和五十二年	六〇、〇〇〇	五七、六〇〇	五三、六〇〇	三、四八六	
昭和五十四年	六一、二〇〇	五八、八〇〇	五四、八〇〇	三、四八六	
昭和五十六年	六二、四〇〇	六〇、〇〇〇	五六、〇〇〇	三、四八六	
昭和五十八年	六三、六〇〇	六一、二〇〇	五七、二〇〇	三、四八六	
昭和六十年	六四、八〇〇	六二、四〇〇	五八、四〇〇	三、四八六	
昭和六十二年	六六、〇〇〇	六三、六〇〇	五九、六〇〇	三、四八六	
昭和六十四年	六七、二〇〇	六四、八〇〇	六〇、八〇〇	三、四八六	
昭和六十六年	六八、四〇〇	六六、〇〇〇	六二、〇〇〇	三、四八六	
昭和六十八年	六九、六〇〇	六七、二〇〇	六三、二〇〇	三、四八六	
昭和七十年	七〇、八〇〇	六八、四〇〇	六四、四〇〇	三、四八六	
昭和七十二年	七二、〇〇〇	六九、六〇〇	六五、六〇〇	三、四八六	
昭和七十四年	七三、二〇〇	七〇、八〇〇	六六、八〇〇	三、四八六	
昭和七十六年	七四、四〇〇	七二、〇〇〇	六八、〇〇〇	三、四八六	
昭和七十八年	七五、六〇〇	七三、二〇〇	六九、二〇〇	三、四八六	
昭和八十年	七六、八〇〇	七四、四〇〇	七〇、四〇〇	三、四八六	
昭和八十二年	七八、〇〇〇	七五、六〇〇	七一、六〇〇	三、四八六	
昭和八十四年	七九、二〇〇	七六、八〇〇	七二、八〇〇	三、四八六	
昭和八十六年	八〇、四〇〇	七八、〇〇〇	七四、〇〇〇	三、四八六	
昭和八十八年	八一、六〇〇	七九、二〇〇	七五、二〇〇	三、四八六	
昭和九十年	八二、八〇〇	八〇、四〇〇	七六、四〇〇	三、四八六	
昭和九十二年	八四、〇〇〇	八一、六〇〇	七七、六〇〇	三、四八六	
昭和九十四年	八五、二〇〇	八二、八〇〇	七八、八〇〇	三、四八六	
昭和九十六年	八六、四〇〇	八四、〇〇〇	八〇、〇〇〇	三、四八六	
昭和九十八年	八七、六〇〇	八五、二〇〇	八一、二〇〇	三、四八六	
昭和百年	八八、八〇〇	八六、四〇〇	八二、四〇〇	三、四八六	

備考
 一、本市場ノ定休日ハ一月元日及ビ毎月二十二日トス但シ昭和二年ニ於テハ大正天皇大喪日二月七日臨時休業セリ。
 一、各平均數ハ小數點以下第一位ヲ以テ四捨五入シテ算出ス但シ平均數ガ單ニ小數ナル時ハ掲上セズ。
 一、月別一日平均數ハ其月ノ開市日數ヲ以テ算出シ年別一日平均數ハ其一年ヲ通算シタル開市日數ヲ以テ算出ス但シ大正十三年ハ潤年ナリ。
 一、大正十三年ニ於テ汽船數ノ記載ナキハ荷揚解數ニ換算計上セシ故ナリ、大正十四年一月乃至七月迄ハ地元ヨリ直航セル汽船數ノミヲ舉ゲ其他ノ東京灣汽船會社ノ伊豆、房州、三崎通汽船ハ解數ニ換算計上シタルモ同年八月以降、汽船ハ總テ汽船トシテ計上セリ。
 一、兩國投解數大正十三年分、二、四七五隻、同十四年分、二、五〇七隻、同十五年分、四、一〇三隻、及ビ昭和二年分、二、四七七隻ハ本表中ノ解數ニ合算セリ。

二、入荷數量四箇年比較

種別	年	陸		海	
		車數	噸	隻	噸
一月	大正十三年	一四、四八八	一〇、九四九	六、七三三	三、四八六
	大正十四年	一五、六七〇	一一、二七七	七、五九九	三、四八六
昭和十五年	一六、八三三	一二、九八二	九、〇〇〇	三、四八六	
昭和十六年	一八、〇〇〇	一四、六六五	一一、三三三	三、四八六	
昭和十七年	一九、二〇〇	一六、三三三	一二、六六六	三、四八六	
昭和十八年	二〇、四〇〇	一八、〇〇〇	一四、〇〇〇	三、四八六	
昭和十九年	二一、六〇〇	一九、二〇〇	一五、二〇〇	三、四八六	
昭和二十年	二二、八〇〇	二〇、四〇〇	一六、四〇〇	三、四八六	
昭和二十一年	二四、〇〇〇	二一、六〇〇	一七、六〇〇	三、四八六	
昭和二十二年	二五、二〇〇	二二、八〇〇	一八、八〇〇	三、四八六	
昭和二十三年	二六、四〇〇	二四、〇〇〇	二〇、〇〇〇	三、四八六	
昭和二十四年	二七、六〇〇	二五、二〇〇	二一、二〇〇	三、四八六	
昭和二十五年	二八、八〇〇	二六、四〇〇	二二、四〇〇	三、四八六	
昭和二十六年	三〇、〇〇〇	二七、六〇〇	二三、六〇〇	三、四八六	

年 月 別	種別		大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年
	入庫	出庫								
一月	二七〇	五四〇								
二月										
三月										
四月										
五月										
六月										
七月										
八月	二,九七〇	二,四三〇								
九月	九,八五五	二,八二五								
十月	二,九七〇	二,九七〇								
十一月	五四〇	四七,二五〇								
十二月	二七〇	二七,八一〇								
合計年	三,三八〇五	一四,七六九〇								
平均月	一,二七三	一,二三〇七								
平均日	三九	四一九								

年 月 別	種別		大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年	大正十四年 昭和十五年
	入庫	出庫								
一月	二七〇	五四〇								
二月										
三月										
四月										
五月										
六月										
七月										
八月	二,九七〇	二,四三〇								
九月	九,八五五	二,八二五								
十月	二,九七〇	二,九七〇								
十一月	五四〇	四七,二五〇								
十二月	二七〇	二七,八一〇								
合計年	三,三八〇五	一四,七六九〇								
平均月	一,二七三	一,二三〇七								
平均日	三九	四一九								

八、冷蔵庫附属製氷高四箇年比較

年 月 別	種 別		合 計
	入 庫	出 庫	
大正十四年 昭和十一年	一月	五九、三八〇	五八、七三七
大正十四年 昭和十一年	二月	一五四、四四〇	一五五、七九〇
大正十四年 昭和十一年	三月	九五、三三〇	一〇一、五二〇
大正十四年 昭和十一年	四月	四六、四四〇	四五、五六六
大正十四年 昭和十一年	五月	七九、一〇〇	七六、五四五
大正十四年 昭和十一年	六月	三五、一〇〇	三三、八八五
大正十四年 昭和十一年	七月	五三、四六〇	五三、一九三
大正十四年 昭和十一年	平均	八九、六四〇	九六、五二五
大正十四年 昭和十一年	合計	一、二七、七三五	一〇六、二四五
大正十四年 昭和十一年	平均	一七、〇四〇	一七、〇三六
大正十四年 昭和十一年	合計	一七、八七五	一八、二六五
大正十四年 昭和十一年	平均	二五、六六五	二七、八七〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二四八、四〇〇	二四七、八六〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二五、七〇〇	二七、二一〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二四八、四〇〇	二四七、八六〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二九、二〇〇	二九、八八四
大正十四年 昭和十一年	合計	二九、二〇〇	二九、八八四
大正十四年 昭和十一年	平均	一九三、四〇〇	一九三、九八五
大正十四年 昭和十一年	合計	一九三、四〇〇	一九三、九八五
大正十四年 昭和十一年	平均	二一四、六五〇	二一三、五八四
大正十四年 昭和十一年	合計	二一四、六五〇	二一三、五八四
大正十四年 昭和十一年	平均	一八八、八一〇	一八八、七三〇
大正十四年 昭和十一年	合計	一八八、八一〇	一八八、七三〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二二〇、二〇〇	二二〇、四七五
大正十四年 昭和十一年	合計	二二〇、二〇〇	二二〇、四七五
大正十四年 昭和十一年	平均	一九三、一八五	一九三、一八五
大正十四年 昭和十一年	合計	一九三、一八五	一九三、一八五
大正十四年 昭和十一年	平均	二四二、三三五	二四二、三三五
大正十四年 昭和十一年	合計	二四二、三三五	二四二、三三五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二二、九二〇	二二二、九二〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二二、九二〇	二二二、九二〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二二四、五二〇	二二四、五二〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二四、五二〇	二二四、五二〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二二四、八〇五	二二四、八〇五
大正十四年 昭和十一年	合計	二二四、八〇五	二二四、八〇五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二七、七三五	二二七、七三五
大正十四年 昭和十一年	合計	二二七、七三五	二二七、七三五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二一、〇四〇	二二一、〇四〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二一、〇四〇	二二一、〇四〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	平均	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	合計	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	平均	三二〇、八八五	三二〇、八八五
大正十四年 昭和十一年	合計	三二〇、八八五	三二〇、八八五

月 別	年 別			
	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年
一月	一	六六九	一、〇三三	二五、二八〇
二月	二〇四	八六七	一〇、二一六	三、四七三
三月	一、二一九	六、六六五	六、六六五	九、一八〇
四月	六、五七六	六、四八〇	九、一八〇	九、一八〇
五月	一三、四四五	七、四二五	七、四二五	八、八五六
六月	二六、八一九	八、八九〇	八、八九〇	八、〇七二
七月	七四、三三八	六二、二〇〇	八七、六六六	七九、四五三
八月	四八、四〇八	一八、八五八	九三、六二八	五九、三三八
九月	二五、九三三	三、三四九	九三、五九五	三五、三二六
十月	三、八四四	五、九八三	八四、四四二	二、四九二
十一月	三、六六一	二、八九三	四四、〇三九	一八、一八〇
十二月	三、六六一	二、八九三	四四、〇三九	一八、一八〇
一年合計	九三、三五五	三六、三六三	六六、四八〇	六三、三三三
一月平均	八、六六五	一、八六四	五、五〇一	五、三三二
一日平均	六四八	六四三	一、八八九	一、八三三

備考 一、製氷事業ハ大正十三年八月五日開始セリ。

年 月 別	種 別		合 計
	入 庫	出 庫	
大正十四年 昭和十一年	八月	三二〇、八八五	三二〇、八八五
大正十四年 昭和十一年	九月	二〇一、六九〇	一九六、〇二〇
大正十四年 昭和十一年	十月	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	十一月	二二二、九二〇	二二一、一六三
大正十四年 昭和十一年	十二月	二二四、五二〇	二二四、五二〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二四、八〇五	二二四、八〇五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二七、七三五	二二七、七三五
大正十四年 昭和十一年	合計	二二七、七三五	二二七、七三五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二一、〇四〇	二二一、〇四〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二一、〇四〇	二二一、〇四〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	平均	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	合計	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	平均	三二〇、八八五	三二〇、八八五
大正十四年 昭和十一年	合計	三二〇、八八五	三二〇、八八五
大正十四年 昭和十一年	平均	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	平均	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	合計	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二二、九二〇	二二二、九二〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二二、九二〇	二二二、九二〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二二四、五二〇	二二四、五二〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二四、五二〇	二二四、五二〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二二四、八〇五	二二四、八〇五
大正十四年 昭和十一年	合計	二二四、八〇五	二二四、八〇五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二七、七三五	二二七、七三五
大正十四年 昭和十一年	合計	二二七、七三五	二二七、七三五
大正十四年 昭和十一年	平均	二二一、〇四〇	二二一、〇四〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二二一、〇四〇	二二一、〇四〇
大正十四年 昭和十一年	平均	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	合計	二〇一、六九〇	二〇一、六九〇
大正十四年 昭和十一年	平均	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	合計	一七九、四一五	一七九、四一五
大正十四年 昭和十一年	平均	三二〇、八八五	三二〇、八八五
大正十四年 昭和十一年	合計	三二〇、八八五	三二〇、八八五

備考

一、合計及月別ニ於ケル各品入出庫數量ニ差異アルハ主トシテ繰越
ニ原因シ且ツ毎日ノ入出庫一品數百三十五貫以下ニ下リタルモ
ノチ全部其他ノ欄ニ包括計上シタルニ依ル。

平均魚價 昭和十五年 大正十四年 昭和十四年	大正十三年		大正十四年		大正十五年		昭和十四年		昭和十五年	
	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月
〇三二二	八三二五	八〇一三	六八一七	五						
六七〇八	六九六八	〇六一四	二五一一							
四四二二	六五四二	五四〇三	三三八四	五	六	六	六	六	六	六
二〇五七	三三八五	三三〇八	二二三三	九	九	九	九	九	九	九
三三三五	三 三	三 四	三	三	三	三	三	三	三	三
〇九二二	〇 九	〇 三	八	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六七六三	三 三	三 七	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六
三三三五	六 六	七 二	五 六	七 六	七 六	七 六	七 六	七 六	七 六	七 六
六八六六	六四九七	四四九七	四四九七	四四三三	四四三三	四四三三	四四三三	四四三三	四四三三	四四三三
三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
九七三三	〇 七 六	九 〇 六	三 九							
六三六〇	七 三 三	七 六 八	八 六							
九八七三	五 三 七	六 三 六	六 九 七	四 三 六	三 六 七	七 八 三	七 八 三	七 八 三	七 八 三	七 八 三
三三三三	八 四 三	〇 四 五	〇 三 九	四 四 三	三 三 三	〇 四 六	〇 四 六	〇 四 六	〇 四 六	〇 四 六
四六五六	三	六 三	三 三 三	四 三 六	四 三 七	〇 三 五	〇 三 五	〇 三 五	〇 三 五	〇 三 五
〇〇〇〇	九	六 七	八 五 八	〇 七 八	九 九 三	七 六 三	七 六 三	七 六 三	七 六 三	七 六 三
三四四五	〇 五 六	三 四 七	四 四 九	五 四 二	三 二 四	〇 三 二	〇 三 二	〇 三 二	〇 三 二	〇 三 二
〇〇二〇	八 三 二	二 八 〇	二 二 四	三 二 九	九 八 〇	七 八 六	七 八 六	七 八 六	七 八 六	七 八 六
四三八九	五 一 九	四 三 九	四 三 八	四 一 八	四 一 八	三 一 六	三 一 六	三 一 六	三 一 六	三 一 六
二九三四	三 一 三	九 八 三	二 〇 三	二 一 三	二 一 三	二 一 三	二 一 三	二 一 三	二 一 三	二 一 三
三三七八	三 六 九	三 七 三	三 九 五	三 三 三	九 三 七	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三
八八二二	九 五 八	八 三 七	七 三 八	九 五 六	五 八 〇	七 六 八	七 六 八	七 六 八	七 六 八	七 六 八
四三七一	六 六	六								
〇〇三	三 三	三								

平均魚價 昭和十五年 大正十四年 昭和十四年	大正十三年		大正十四年		大正十五年		昭和十四年		昭和十五年	
	六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月
三 〇	四 四	三 三	六 四	六 四	七 四	五 三	三 二	三 二	三 二	三 二
〇〇一五	三 二	三 九	三 三	三 三	四 二	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五 七	三 七	七	五	五	五	五	五	五	五	五
〇九三三	八 九 三	〇 三	〇 三	〇 三	〇 三	〇 三	〇 三	〇 三	〇 三	〇 三
四六六六	三 四 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三	三 三 三
九三三四	六 七 九	六 九 〇	六 九 〇	六 九 〇	六 九 〇	六 九 〇	六 九 〇	六 九 〇	六 九 〇	六 九 〇
二	五 三 九	八 五 〇	八 七 二	三 〇 三	七 六 三	七 六 三	七 六 三	七 六 三	七 六 三	七 六 三
九 〇	三 八 三	四 九 六	四 四 六	九 六 五	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇
六 三	元 六 七	七 六 七	四 元 七	六 元 七	六 元 七	六 元 七	六 元 七	六 元 七	六 元 七	六 元 七
三 八 七	三 三 三	三 三 九	六 三 三	六 三 三	六 三 三	六 三 三	六 三 三	六 三 三	六 三 三	六 三 三
三 三	三 三	元	三	三	三	三	三	三	三	三
八 七	三 四 七	三 元	元	元	元	元	元	元	元	元
〇 二	三 三 四	三 六 三	四 五 八	四 三 七	四 三 七	四 三 七	四 三 七	四 三 七	四 三 七	四 三 七
七 八 六	九 八 七	二 三 〇	二 三 四	三 八 三	〇 二 〇	〇 二 〇	〇 二 〇	〇 二 〇	〇 二 〇	〇 二 〇
三 一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二 一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三 五	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三
〇 九	七 三	九 四	三 三	九 九 〇	二 三	二 三	二 三	二 三	二 三	二 三
五 〇	元 二 七	三 三	元 七	四 六 七	四 六 七	四 六 七	四 六 七	四 六 七	四 六 七	四 六 七
三 七	五 六	九 〇	三 三	六 二	九 九	九 九	九 九	九 九	九 九	九 九

近海物 (其三) (十貫建單位圓)

近海物 (其四) (十貫建單位圓)

年 月 別	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年
甲 い か	六〇六	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三
い や か り	五五三	七六〇	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六	九二六
な び か ん	二	三三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三	三四三
な か つ な ま り	三〇九	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
あ わ び	三〇九	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
え く る ま ま き い え し ば	八七五	三二〇	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三	五七三
こ は だ き す か ま す さ よ り	四〇三	一〇〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇

平均魚價 昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年	昭 和 二 年	同 十 五 年	大 正 十 三 年
三三元	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
八七四	六	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
七八八	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
四四三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
五七三	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
四四八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
三〇九	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三二四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
五五五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
三三三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
〇〇二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六六八	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
五六三	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
〇〇九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九九八	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
八八七	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
三三三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
二二二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
九九九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
四四四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
八八八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
五五五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三三三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

平均魚價 昭和同大 和同十正 二五十四三 年年年年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年
	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
九九六五						
六七六八						
五六						
四三						
四四三六	三	三	三	三	三	三
三三六三	三	七	七	六	四	三
六六七七						
四四三六						
六三〇六	三	六	三	五	六	七
五三三三	三	九	二	四	五	七
四三	三	二	七	四	三	五
五三	六	八	三	三	五	四
五五三三						
四三三六						
五七						
四三						
七七六六	六六四五	六六五七	六六六八	六六六九	六六六八	六六六六
三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
八七六						
六六八						
六七七七	七七八七	六七七六	七三五六	七三五六	四三五六	
五五七六	五五七六	五五七五	四四四五	四四四五	三三三三	
二二二八	二二二八	二二二九	二二二九	二二二八	二二二八	二二二八
二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇
二二二六	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五

六三

昭和同大 和同十正 二五十四三 年年年年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年
	六月	五月	四月	三月	二月	一月
〇八六四	七九五九	六				
七五七四	五七五七	八				
四三	五元	三				
三元	四元	三				
三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
五五七七	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
四四三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
六三〇六	五三三三	四三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
五三三三	四三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
四三	五元	三				
六三	四元	三				
五五三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
四三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
五七	七元	六				
四三	四元	三				
六六六六	七六六六	八六六六	九六六六	七六六六	七六六六	七六六六
三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
六三六	六三六三	六三六三	六三六三	六三六三	六三六三	六三六三
五五六	五五六五	五五六五	五五六五	五五六五	五五六五	五五六五
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
二二二六	二二二六	二二二六	二二二六	二二二六	二二二六	二二二六

(一) 活

物

(十貫建單位圓)

年月別
大たひ
かすこ
たくひろ
すすき
かれひ
かまひこ
こち
なあ
めい
あなご
す小
きす
えい
びせ
一あ
簡にか
付ひ

六二

平均魚價 昭和十五年 大正十四年 同十三年	昭和十五年		大正十四年		同十三年	
	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
元七三三	五七〇四	六〇七三	五五三三	五五〇三	〇三	三三
五二六九	〇三〇三	三〇八六	三三三三	八 七九	五三	八九
四六〇四					八	六〇
三三四六					四	三五
六四九三	八八					二
五三七〇	六七					〇
四三六一	五三	五三	元 〇	七三	三	〇八〇
六七七三	三三	三三	六三	六三	九	三三四
〇六五六	三三七六	九六三三	七六三七	九八五八	六五四三	四一三二
七四二二	〇六五四	五四二二	五四二二	七五三五	四三〇二	二九九八
八四四五	八七四四	六三三五	四七四〇	五六	〇七	七〇五
四〇九〇	五三七〇	三九八〇	三三三三	三三	八	四八三
二二三四	三四五五	八〇〇三	〇〇三三	二二三三	〇二三三	〇九〇九
九〇二二	〇三三三	七九八二	九九九二	九〇二二	八〇〇八	八八八六
七九九〇	七〇二二	七九八〇	八八九二	〇八八〇	八五七八	五六六四
六七八八	八二一九	六七七八	七五八九	八七六八	七三六	四、五五五三
四四八〇	八七五七	五、五三六六	四、二七	二	二	七八
三二六七	六五三三	五、二二三三	三 〇三	九	七	六七
四二七六	四	元	五三	三三	六五	三三三
五三三六	元	三	〇五	六四	三〇	八三七
八六八	三	三	二	〇	九	二二二
三三二	八	七	二八	九	八七	八、五九七
七七五八	七三六三	五五六七	五四九七	四二五六	三三八九	三三三三
二〇三二	三〇九九	二七七八	二七六七	二七八二	六三九九	〇六四二

六五

年月別	昭和十五年		大正十四年		同十三年	
	六月	五月	四月	三月	二月	一月
七四九〇	四六四七	三三六三	六七七六	六五元九	五四九四	四四九四
〇三三三	六三三	六三三三	三三三三	七三三三	三三三三	三三三三
九三三五	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三	三三三三
八五八六	九七六〇	六九六〇	三三	三三	三三	三三
九	七	八〇三	七四二〇	六二六四	五 三	三
七	三六	五八	六三七八	五〇五三	三 三	三
五九二五	三三三三	五〇四四	六四九五	九三三	五三	五三
九一四五	五三三八	六三三七	五九三九	三三三	三三三	三三三
四二〇三	〇五四五	五六八七	六六七八	三五六三	九二七九	三三三
三九八九	七四〇二	二四五四	三三三三	九四三八	六八四五	三三三
三三七七	六三三六	三三三六	四五六八	三三三三	六三三三	三三三
八三三四	三三三三	六三三三	九三三三	六三三三	五八四五	三三三
二〇二五	三	四	三五	四八	五五七	三三三
九九九三	〇〇	三	三三	三五	三三四	三三三
六七七七	七七九二	三〇〇	二二三	二四	三二三	三三三
五五五六	六六八九	〇九七	九九〇	九三	二九二	三三三
二〇	三五六七	四七九八	七四八〇	三九五	三三三	三三三
九九〇五	二四四五	三三七四	五三六五	三七八	三三三	三三三
三六八三	三三	四	五	六	五	三三三
七三三三	八七	四	五	五	三三三	三三三
三四三	六八	九	三	八	三	三三三
八九九	〇二五	三	六	五	三	三三三
七八五九	二九九八	〇三三〇	〇二二二	一九九八	一九九八	一九九八
二八三〇	四三六六	五六二〇	五五〇五	五〇四五	五〇四五	五〇四五

(三) 關西物 (其一) (十貫建單位圓)

六四

平均魚價	昭和十五年		昭和十四年		昭和十三年		昭和十二年	
	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十三年	大正十二年	大正十三年	大正十二年
昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十三年
五〇四六五	五〇五二六	三〇七九七	二七〇九六	二〇九三三	二八九〇一	三九三九七		
一九〇七五	〇九八八〇	九七八七〇	九七六九五	九六六八三	八六七七六	九六〇七二		
八八七五五	六八七五九	五五六一四	三三四八三	五五四七四	五五五三三	五七五五八		
六五五五二	四七五五三	三三三三三	三三三三三	四〇四三	四四四三	四四四三		
八九八七五	七九五〇六	六七七七八	五五六四八	五五五〇三	五八四四五	五五五三三		
七六六五九	六七六八八	五五五五七	四四四四五	四三三三三	三三三三三	三三三三三		
〇二二二〇	九一〇〇六	八八八九七	七七七七六	八七七七八	八三三三三	八八九八		
九九九八二	七九八八八	六六六六七	六五五五五	七五五五七	七八六六六	七六六六六		
七三三三								
三三三三								
一五五五								
一三三三								
三三三三	四二二二	三三三三	二二二二	一九九八	八八八八			
九七七七	九八三三	九七九六	八六六六	七六六六	六五五五			

年月別	昭和十五年		昭和十四年		昭和十三年		昭和十二年	
	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十三年	大正十二年	大正十三年	大正十二年
昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十二年	
まきい	五二二二	八五五五	八〇〇〇	八八八八	八八八八	五二二二		
えし	〇六九五	二〇三三	三三四三	四七五五	三三三三	二二二二		
すえび	五七六六	八七六六	五三三三	五九九九	二二二二	九九五五		
えく	四四四四	六六六六	二二二二	三三三三	三三三三	二二二二		
びま	九九九九	〇三三三	四八八八	四九九九	二二二二	二二二二		
朝えび	三三三三	六三三三	七五五五					
大正	三三三三	三三三三	三三三三					
正	三三三三	三三三三	三三三三					
無								
えび								

關西物 (其二) (十貫建單位圓)

(四) 三 陸 物 (其一) (十貫建單位圓)

年 月 別	昭 和 十 五 年						大 正 十 三 年						名							
	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月								
	二	三	三	三	三	三	二	三	三	三	三	三	五	七	四	三	四			
	九	二	九	一	一	一	八	一	一	一	一	一	九	五	一	三	三	四	九	四
	二	三	三	三	三	三	二	三	三	三	三	三	五	七	四	三	四	三	四	九
	七	九	九	九	九	九	六	八	八	八	八	八	九	二	八	八	九	三	七	三
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

平均魚價 昭 和 十 五 年	昭 和 十 五 年						大 正 十 三 年													
	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月								
四	二	九	七	三	七	三	二	三	三	三	三	三	七	一	一	四	九	五	三	〇
三	八	五	三	九	四	一	二	二	〇	二	二	〇	八	〇	七	二	六	八	八	〇
三	六	三	九	六	九	七	〇	七	〇	七	〇	七	七	二	五	三	三	五	三	三
六	九	八	三	五	三	三	五	〇	九	五	四	七	三	八	九	二	八	八	九	三
六	一	四	一	六	三	三	六	三	六	三	三	四	七	三	九	九	九	〇	三	三
八	一	四	一	七	五	七	四	七	八	七	三	五	六	三	三	三	三	三	三	三
五	一	四	一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	八	五	九	四	一	四	二	三
三	一	八	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	三	四	九	一	二	七
八	一	六	一	三	五	八	七	三	一	四	三	六	三	〇	五	四	三	四	〇	三
七	一	三	一	三	五	五	三	七	一	〇	五	六	八	七	三	三	五	二	九	二
一	一	五	五	六	一	〇	八	二	二	一	一	一	一	七	一	一	一	一	一	一
一	一	二	一	四	四	〇	八	七	〇	八	一	一	一	六	一	一	一	一	一	一
二	一	二	二	三	四	五	〇	九	三	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九	一	一	一	二	三	三	九	八	〇	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	五	五	六	五	〇	三	一	七	一	四	四	五	五	五	五	四	四	三	四	二
三	四	四	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	三	三	三	三	三	三	二
七	七	一	八	八	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	六	三	七	七	五	五	一	一	一	一	一	一	一	六	一	五	一	一	一	一
七	七	九	九	〇	四	一	三	二	〇	八	三	一	一	九	九	一	一	一	一	一
六	六	七	八	八	六	九	一	〇	七	一	八	七	二	七	一	六	六	六	一	五
四	三	五	〇	三	三	三	〇	九	九	二	六	八	三	三	五	四	九	二	一	五
二	二	四	七	八	二	七	八	一	一	三	二	六	二	一	三	三	八	九	九	二
四	一	九	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	八	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

平均魚價 昭和二十五年 大正十四年	昭和二十五年		大正十四年		昭和二十五年		大正十四年		昭和二十五年		大正十四年	
	十	月	十	月	九	月	八	月	七	月	七	月
六、八一												
五、七四												
〇二二												
八、九八												
六、六八												
五、五七												
九、一八					九、二九		九、二七		八、八			
七、五八					八、七		八、九五		六、七			
二、二六												
二、八三												
一、七四	四、四四											
二、五二	三、三二											
五、四七	八、〇〇	六、一五	九、四三	六、五七	五、〇五	三、五三	六、〇八	二、三九	二、三三			
〇、〇六	七、〇〇	六、六	五、四七	四、四四	三、四四	二、二四	三、五〇	二、二五	二、一七			
四、三三	〇、〇〇	七、七六	四、〇〇	四、〇〇	三、五二	二、一八	〇、五〇	〇、五〇	〇、九七			
四、三三	二、〇〇	二、二二	二、二二	四、五八	七、五							
八、九〇	一、〇〇	二、二二	二、二二	三、四八	六、〇							
四、三三	一、六五	二、六六	二、六六	三、四七	六、〇							
三、三二		一、二八	三、五三									
三、八六		一、九八	三、二〇									
二、二九		一、二五	二、三三									
二、七六		一、六五	二、七三									
三、三三	四、四三	四、三	四、四	五、〇					三、五			
三、九八	〇、〇九	〇、〇八	〇、〇六	〇、〇					三、〇			
三、三三	三、五〇	三、七	三、三	四、〇					三、〇			
四、六九	五、五〇	三、七	三、三	四、〇					三、〇			

平均魚價 昭和二十五年 大正十四年	昭和二十五年		大正十四年		昭和二十五年		大正十四年		昭和二十五年		大正十四年	
	六	月	五	月	四	月	三	月	二	月	一	月
					五、七九		七、九六		九、六五		八、	四
					六、七七		六、九五		八、一六		七、	四
					二、〇		九、四〇		三、二		二、	四
					一、〇七		九、五八		七、八〇		一、〇九	四
					六、六七		六、六二		六、九		七、	四
					五、五六		五、八八		六、八		七、	四
					八、〇		九、		二、八			四
					六、八		七、		九、			四
					三、六〇		三、三三		三、六			四
					三、四七		三、九三		三、三三			四
					一、七四		一、四四		一、六			四
					二、五二		二、三二		二、八			四
					五、四七		八、〇〇		六、一五		九、四三	四
					〇、〇六		七、〇〇		六、六		五、四七	四
					四、三三		〇、〇〇		七、七六		四、〇〇	四
					四、三三		二、〇〇		二、二二		二、二二	四
					八、九〇		一、〇〇		二、二二		二、二二	四
					四、三三		一、六五		二、六六		二、六六	四
					三、三二				一、二八		三、五三	四
					三、八六				一、九八		三、二〇	四
					二、二九				一、二五		二、三三	四
					二、七六				一、六五		二、七三	四
					三、三三				四、四三		四、三	四
					三、九八				〇、〇九		〇、〇六	四
					三、三三				三、五〇		三、三	四
					四、六九				五、五〇		三、七	四

三 陸 物 (其三) (十貫建單位圓) (一尾建單位錢)

平均魚價 昭和十五年 同十四年 同十三年	昭和十五年		昭和十四年		昭和十三年		昭和十二年	
	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十三年	大正十二年	大正十三年	大正十二年
二〇三三	三〇五五	四六六六	六三三三	六〇四四	〇三〇三	〇	〇	〇
一七二七	二四九四	二九四三	三〇八四	三二二八	八二六八	八	〇	〇
二〇八二	元	元	元	元	元	元	元	元
六五八	元	元	元	元	元	元	元	元
〇二二三	〇二二〇	二二三	九三	〇二	七六	六七	〇	〇
八九六	九九一八	九九九	八二	八九	五五	五二	〇	〇
六九八	五八	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五八六	四七	六八	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二九二三	元	元	元	元	元	元	元	元
八七一	元	元	元	元	元	元	元	元
五三六	八九	六六七	三三七九	四三四四	四五五	二五	三	三
三三三	七六	五四五	三三四六	三二二二	三三三	〇三	〇	〇
一六七	四	五五七	元	元	元	元	元	元
一四二	四二二	四	元	元	元	元	元	元
二三四	元	元	元	元	元	元	元	元
九九二	元	元	元	元	元	元	元	元
〇〇七七	三八八三	三〇五五	元	元	元	元	元	元
九二〇八	三七三	三七八	元	元	元	元	元	元



昭和十五年	昭和十四年		昭和十三年		昭和十二年		年月別
	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十三年	大正十二年	
元	元	元	元	元	元	元	まぐろ
元	元	元	元	元	元	元	ひらめ
元	元	元	元	元	元	元	れま
元	元	元	元	元	元	元	ひ
元	元	元	元	元	元	元	たら
元	元	元	元	元	元	元	ます
元	元	元	元	元	元	元	さけ
元	元	元	元	元	元	元	さ
元	元	元	元	元	元	元	け
元	元	元	元	元	元	元	いや
元	元	元	元	元	元	元	かり
元	元	元	元	元	元	元	た
元	元	元	元	元	元	元	こま

(五) 北海物 (十貫建單位圓)

(六) 川 魚 (一貫建單位圓)

年月別	昭和二十五年		昭和二十四年		昭和二十三年		昭和二十二年		昭和二十一年		昭和二十年	
	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月
天然	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
養殖	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
並大	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
ぎせう	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
すっぽん	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
あ	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
ゆ	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

平均魚價	昭和二十五年		昭和二十四年		昭和二十三年		昭和二十二年		昭和二十一年		昭和二十年	
	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月
三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
二	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
八	八	八	七	七	七	七	七	七	七	七	七	
七	七	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	
七	六	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	
四	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
七	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
九	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	

十 鹽 乾 魚 (其一) (十貫建單位圓)

年 月 別	大正十三年		大正十四年		大正十五年	
	一	二	三	四	五	六
カムサツ	四、一〇	三、九〇	三、八〇	三、七〇	三、六〇	三、五〇
カサツ	四、二〇	四、一〇	四、〇〇	三、九〇	三、八〇	三、七〇
改良カサツ	五、一〇	五、〇〇	四、九〇	四、八〇	四、七〇	四、六〇
米國産	六、一〇	六、〇〇	五、九〇	五、八〇	五、七〇	五、六〇
新巻	七、一〇	七、〇〇	六、九〇	六、八〇	六、七〇	六、六〇
根室	八、一〇	八、〇〇	七、九〇	七、八〇	七、七〇	七、六〇
三場所	九、一〇	九、〇〇	八、九〇	八、八〇	八、七〇	八、六〇
樺太産	一〇、一〇	一〇、〇〇	九、九〇	九、八〇	九、七〇	九、六〇
松前	一一、一〇	一一、〇〇	一〇、九〇	一〇、八〇	一〇、七〇	一〇、六〇
するめ	一二、一〇	一二、〇〇	一一、九〇	一一、八〇	一一、七〇	一一、六〇

平均魚價	大正十三年		大正十四年		大正十五年	
	七	八	九	十	十一	十二
カムサツ	四、一〇	三、九〇	三、八〇	三、七〇	三、六〇	三、五〇
カサツ	四、二〇	四、一〇	四、〇〇	三、九〇	三、八〇	三、七〇
改良カサツ	五、一〇	五、〇〇	四、九〇	四、八〇	四、七〇	四、六〇
米國産	六、一〇	六、〇〇	五、九〇	五、八〇	五、七〇	五、六〇
新巻	七、一〇	七、〇〇	六、九〇	六、八〇	六、七〇	六、六〇
根室	八、一〇	八、〇〇	七、九〇	七、八〇	七、七〇	七、六〇
三場所	九、一〇	九、〇〇	八、九〇	八、八〇	八、七〇	八、六〇
樺太産	一〇、一〇	一〇、〇〇	九、九〇	九、八〇	九、七〇	九、六〇
松前	一一、一〇	一一、〇〇	一〇、九〇	一〇、八〇	一〇、七〇	一〇、六〇
するめ	一二、一〇	一二、〇〇	一一、九〇	一一、八〇	一一、七〇	一一、六〇

鹽乾魚 (其二) (十貫建單位圓)

Table with 6 main columns for months (昭和十二年, 昭和十三年, 昭和十四年, 昭和十五年, 大正十三年, 大正十四年, 大正十五年) and 14 rows for fish types (南 部の 干 魚, 南 部 改 質, 但 馬, 越 前, 煮 干, か ず, た り, 身 欠, 三 陸, 櫻 乾, 内 地, 一 樽 子). Each cell contains numerical price data.

Table with 6 main columns for months (昭和十二年, 昭和十三年, 昭和十四年, 昭和十五年, 大正十三年, 大正十四年, 大正十五年) and 14 rows for fish types (同 部, 同 改 質, 同 馬, 同 越 前, 同 煮 干, 同 か ず, 同 た り, 同 身 欠, 同 三 陸, 同 櫻 乾, 同 内 地, 同 一 樽 子). Each cell contains numerical price data.

平均魚價 昭和同大 和同十三 二五年年 年	昭同大	昭同大	昭同大	昭同大	昭同大	昭同大
	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年
	十二 月	十一 月	十 月	九 月	八 月	七 月
一八五	一四一	二一				
一〇六	〇八	二一				

平均魚價 昭和同大 和同十三 二五年年 年	昭同大	昭同大	昭同大	昭同大	昭同大	昭同大
	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年	和同正 二五十三 年四三年 年
	六 月	五 月	四 月	三 月	二 月	一 月
一八五	一四一	二一				
一〇六	〇八	二一				

鹽 乾 魚 (其三) (一尾建單位錢)

一
把
付

名

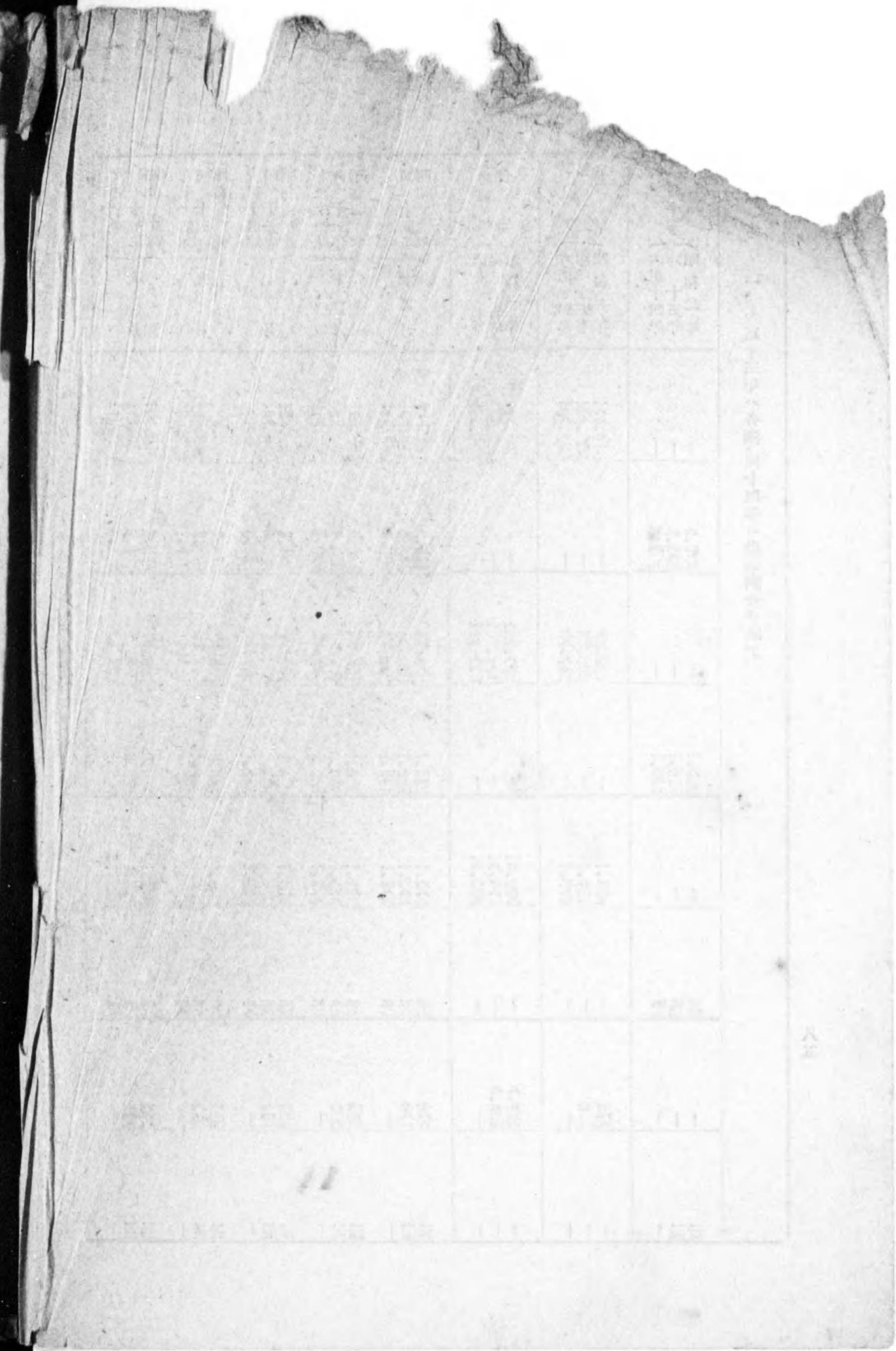
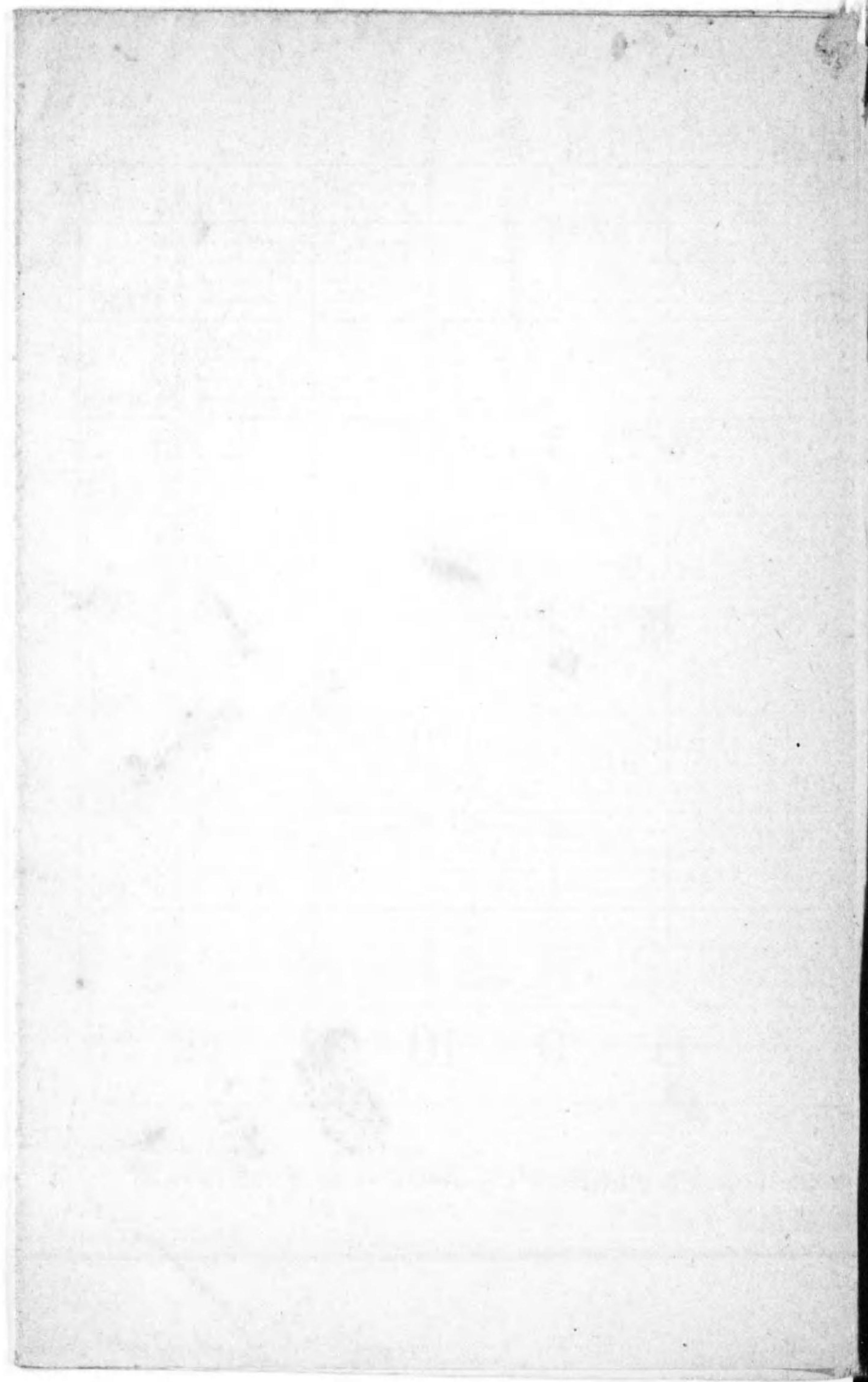
附錄

汚物搬出數量三箇年比較

年種別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	塵		芥		魚鰾骨		尿		淤泥		
								一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	
大正十四年	二四、五〇〇	二四、七〇〇	二四、四〇〇	二四、二〇〇	二四、一〇〇	二四、〇〇〇	二四、〇〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇	二四、五〇〇
大正十五年	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇
昭和二年	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇

年種別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	塵		芥		魚鰾骨		尿		淤泥		
								一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計	一日平均	
大正十四年	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇
大正十五年	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇
昭和二年	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇	二二、五〇〇

備考 一、大正十三年ハ各欄、同十四年ハ淤泥調査ヲ缺ク。



京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽圖

噸數 一日平均

噸 561 噸

噸 630 噸

內 譯

陸海	運	384噸	68%
	運	177噸	32%
陸海	運	462噸	73%
	運	168噸	27%

市内及近郊消費數量

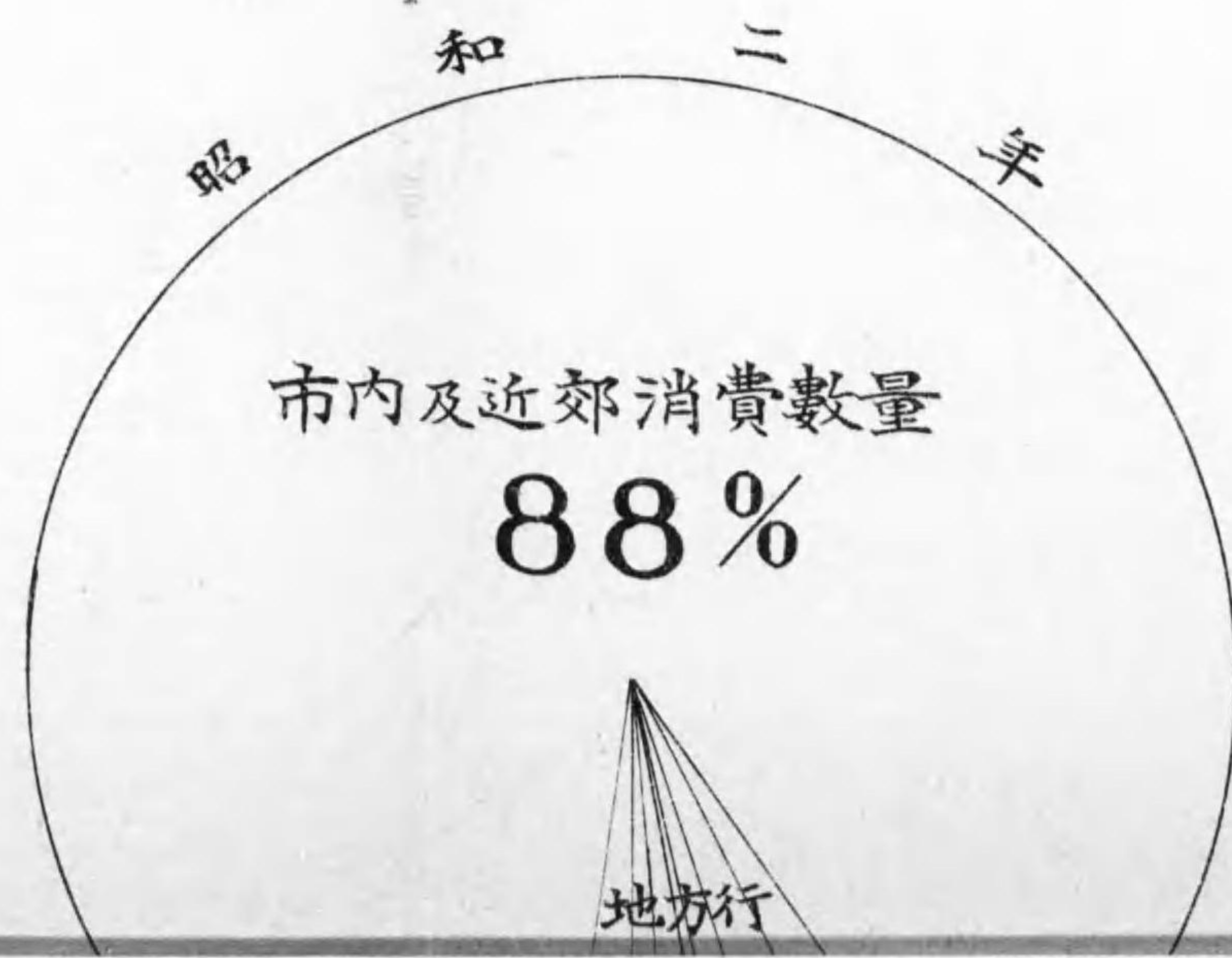
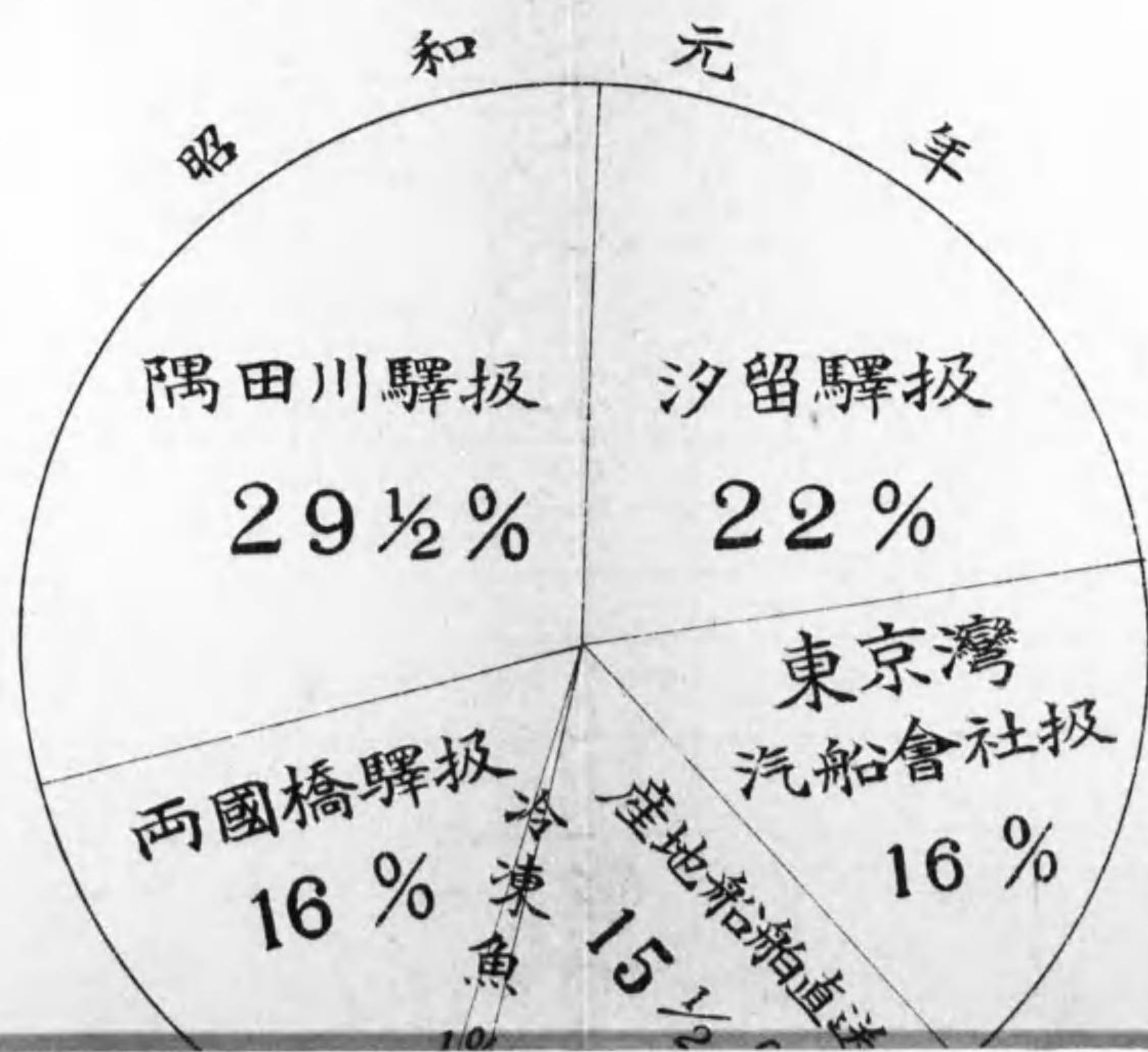
地方出荷數量

昭和元年 172.047 噸

25.488 噸

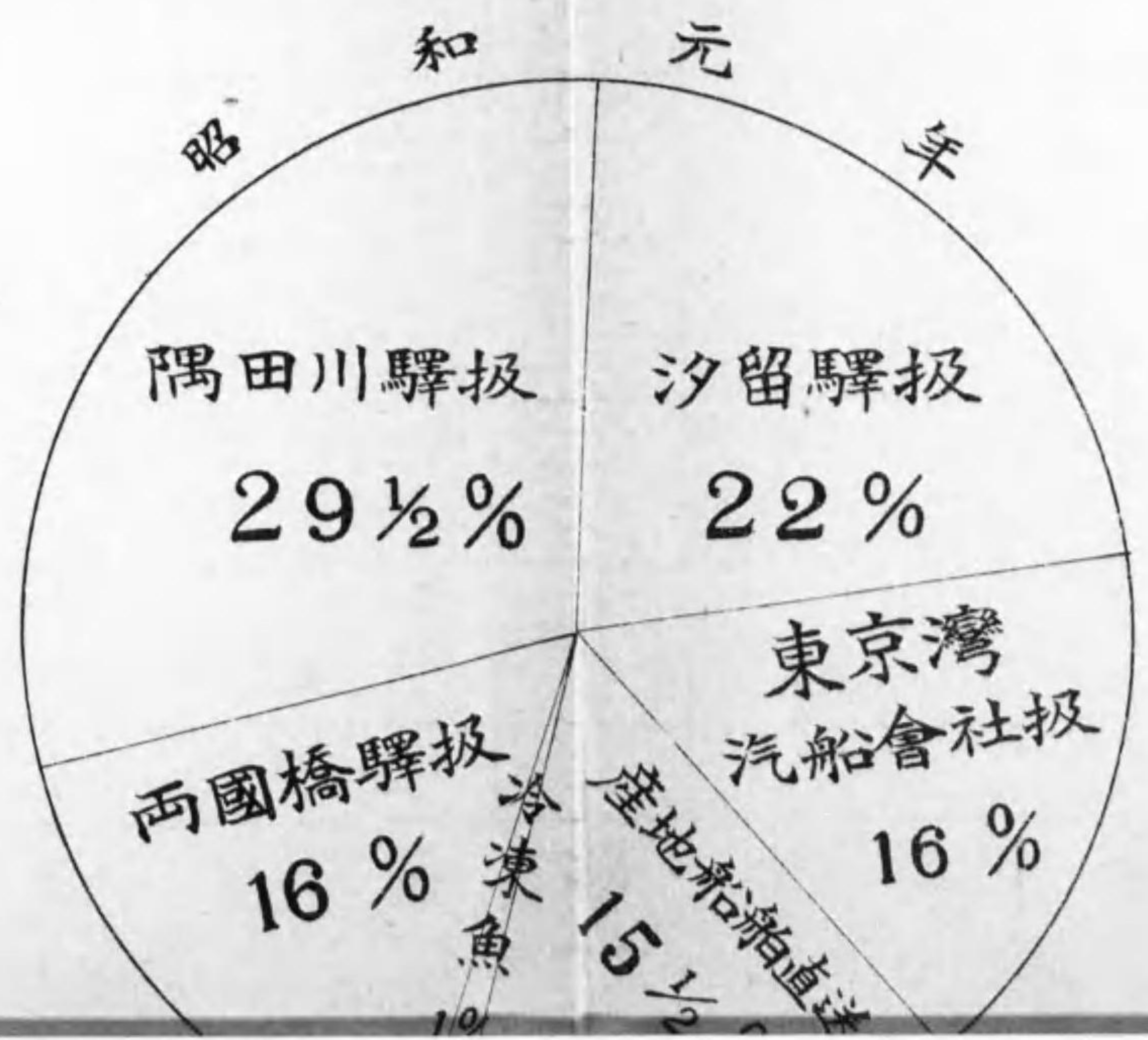
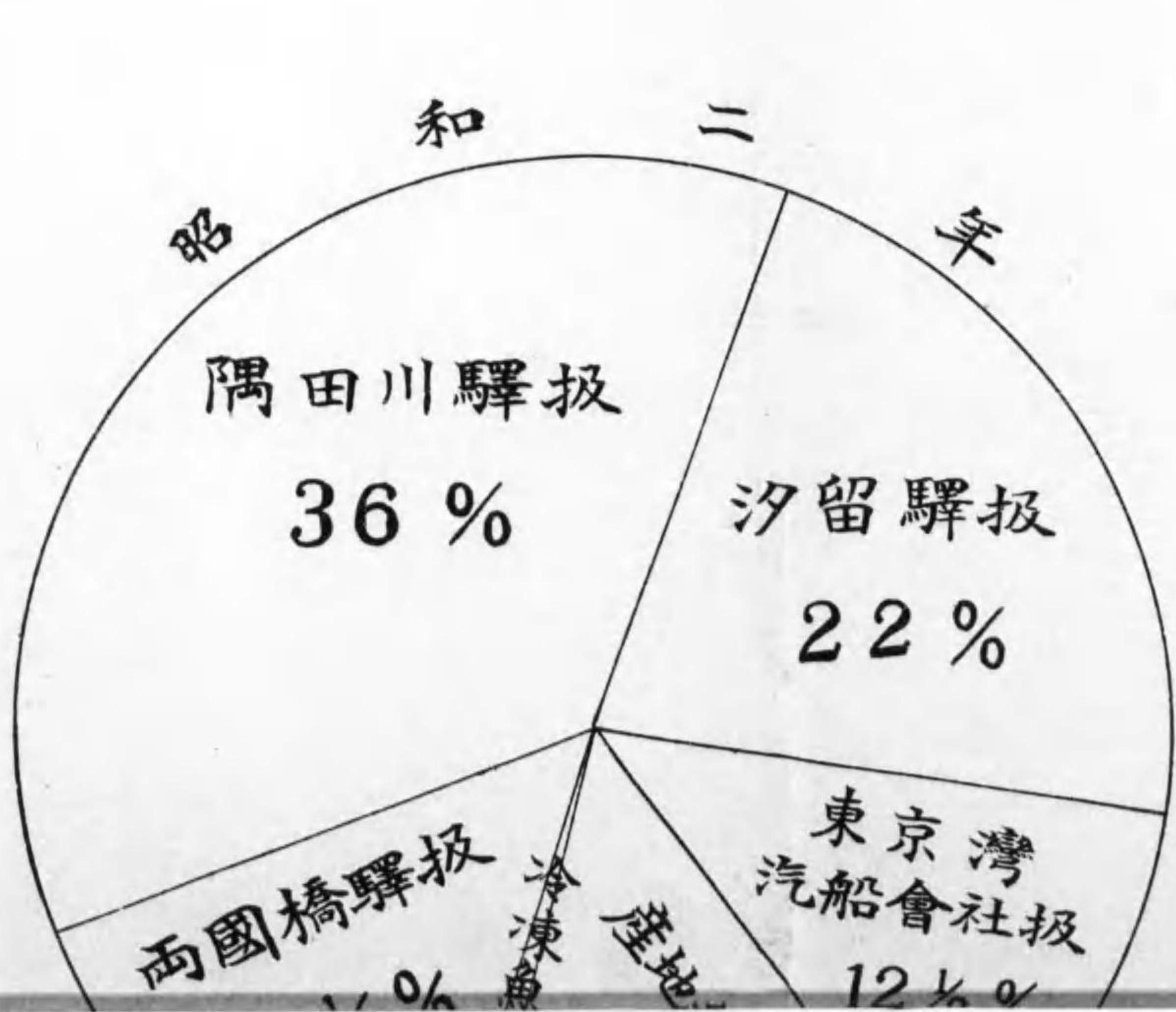
昭和二年 195.183 噸

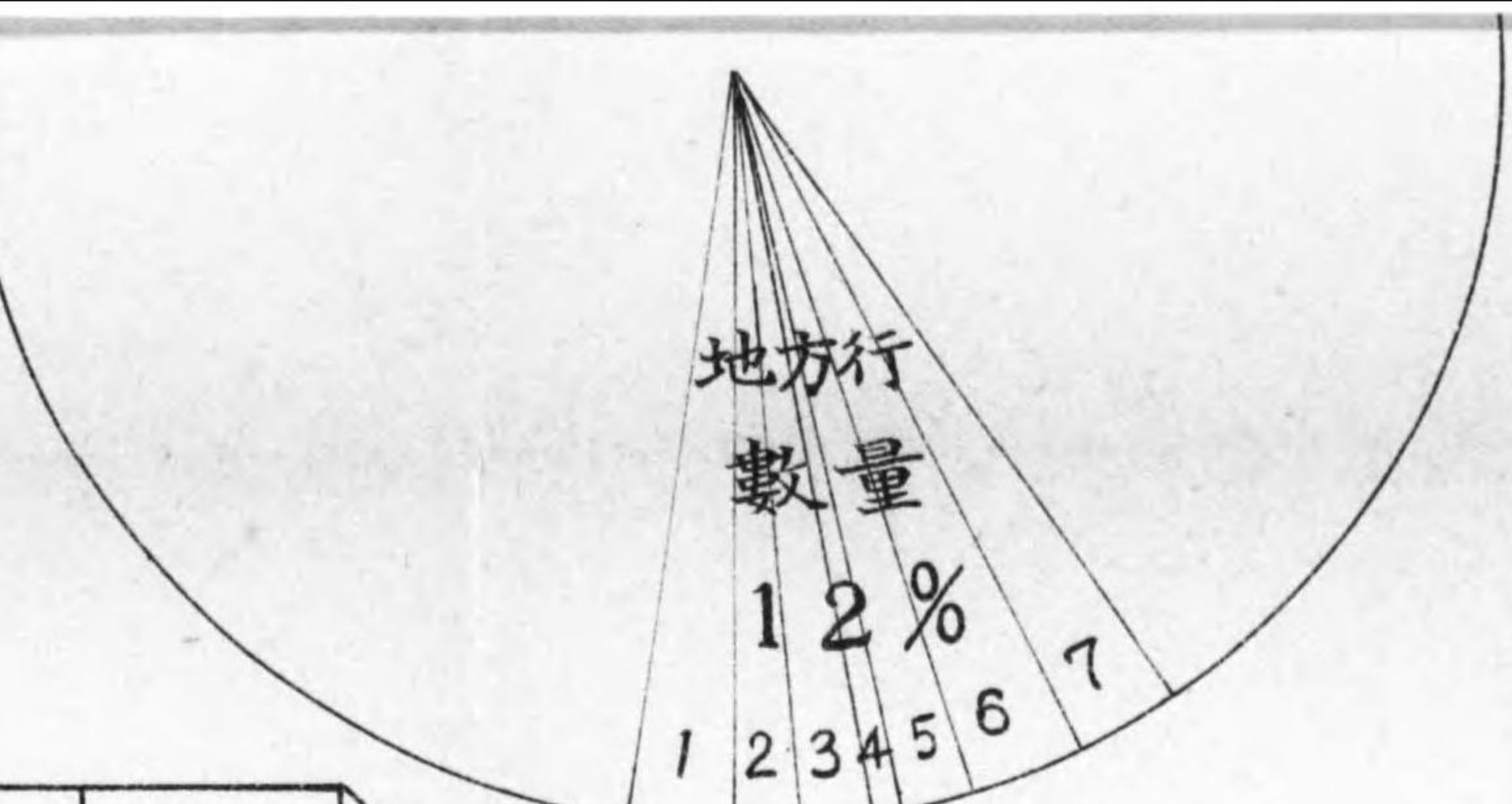
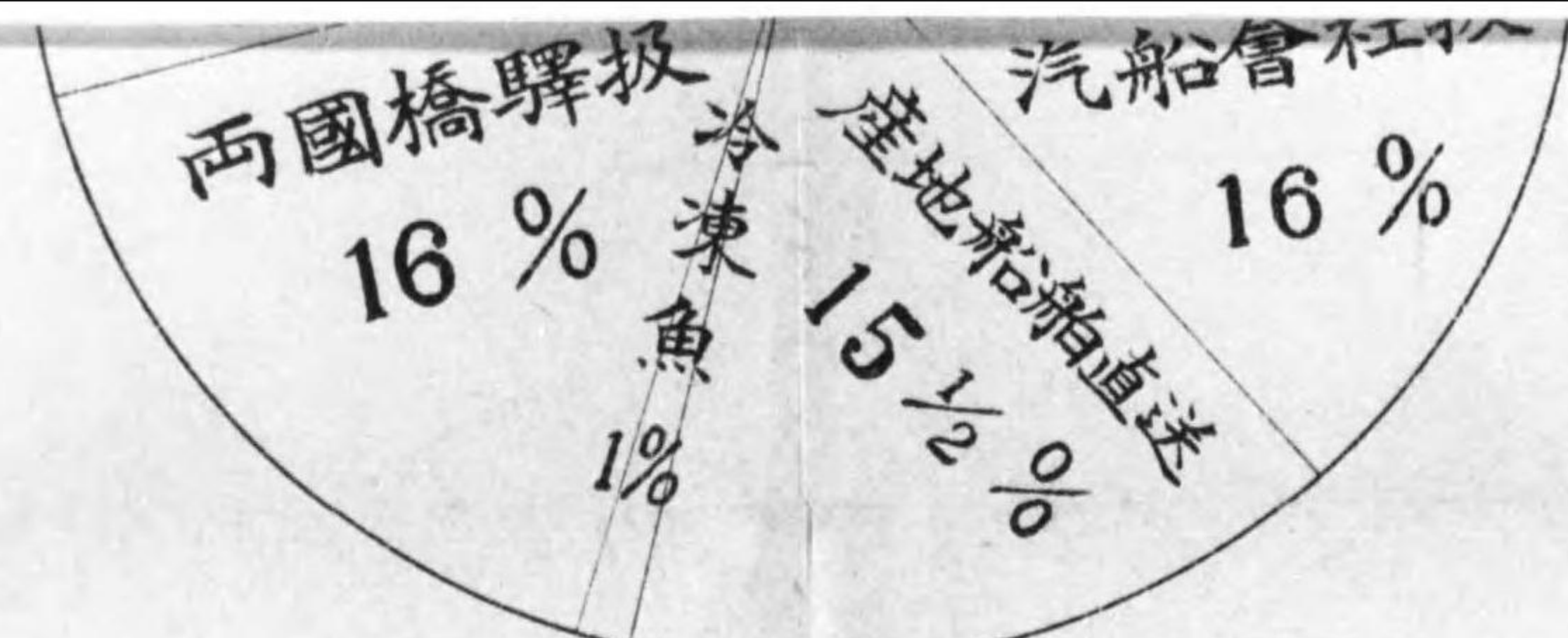
25.986 噸



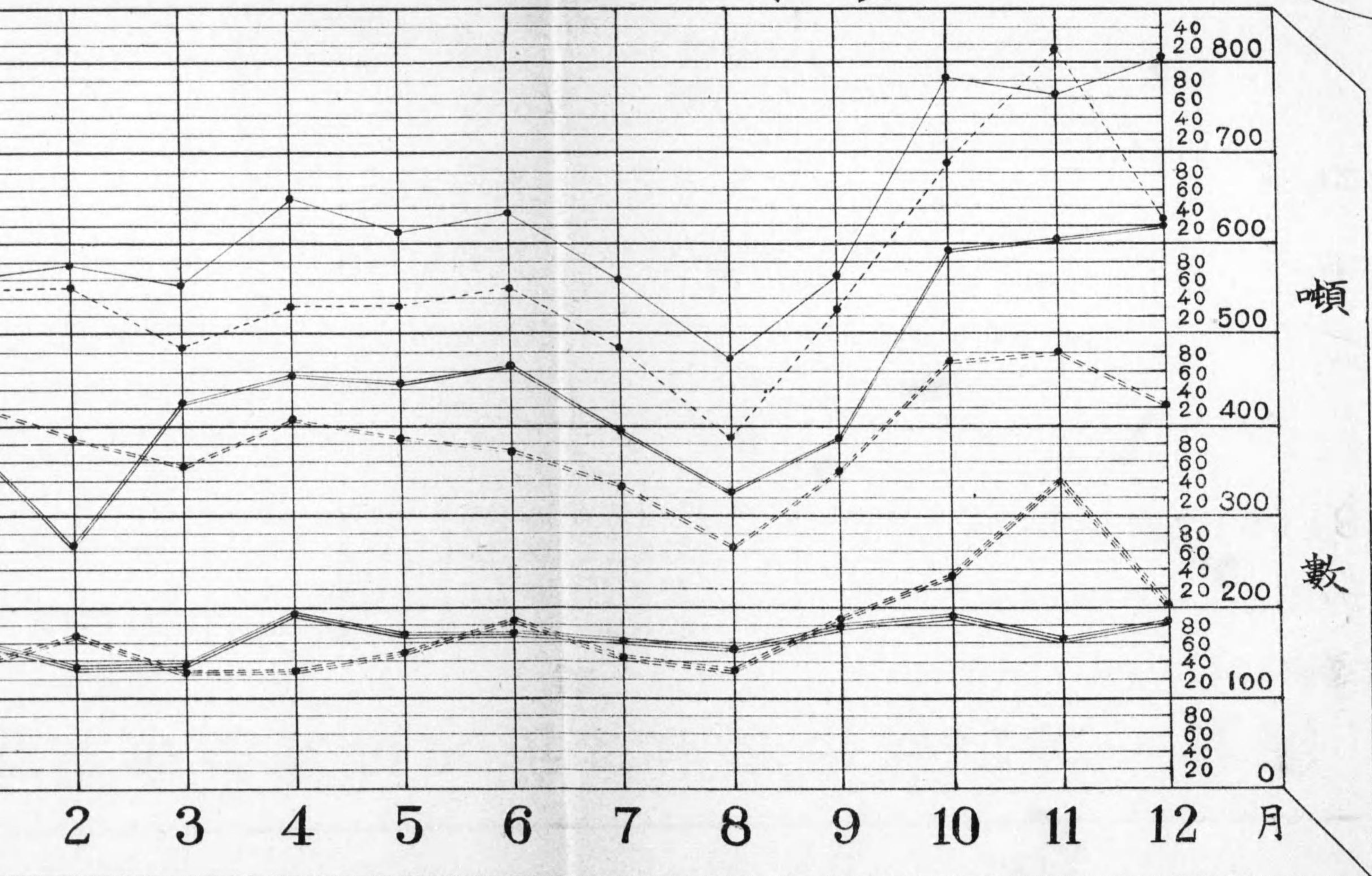
東京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽

	一年入荷總噸數	一日平均	內譯		市内及近郊
			陸海	運	
昭和元年	197,535 噸	561 噸	陸海	384 噸 68%	昭和元年
			運	177 噸 32%	
昭和二年	221,169 噸	630 噸	陸海	462 噸 73%	昭和二年
			運	168 噸 27%	





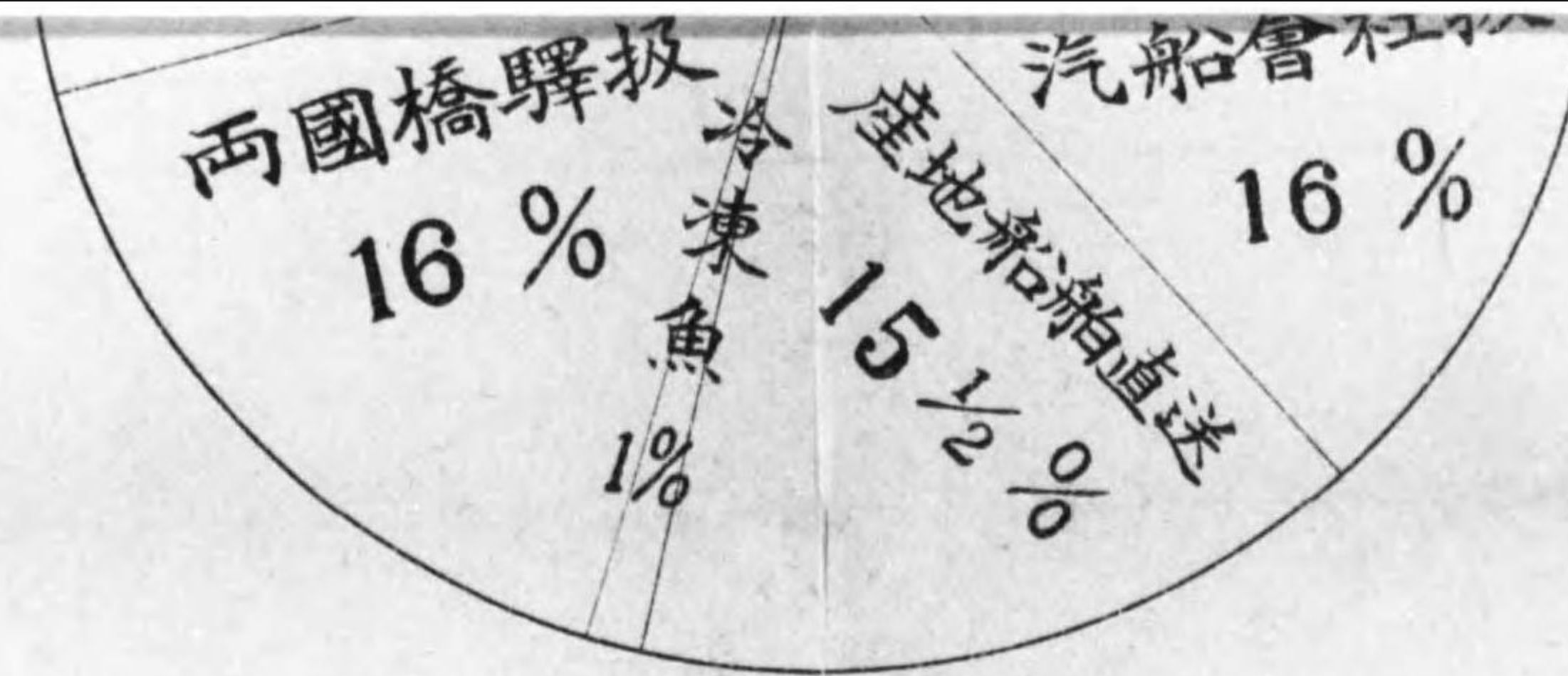
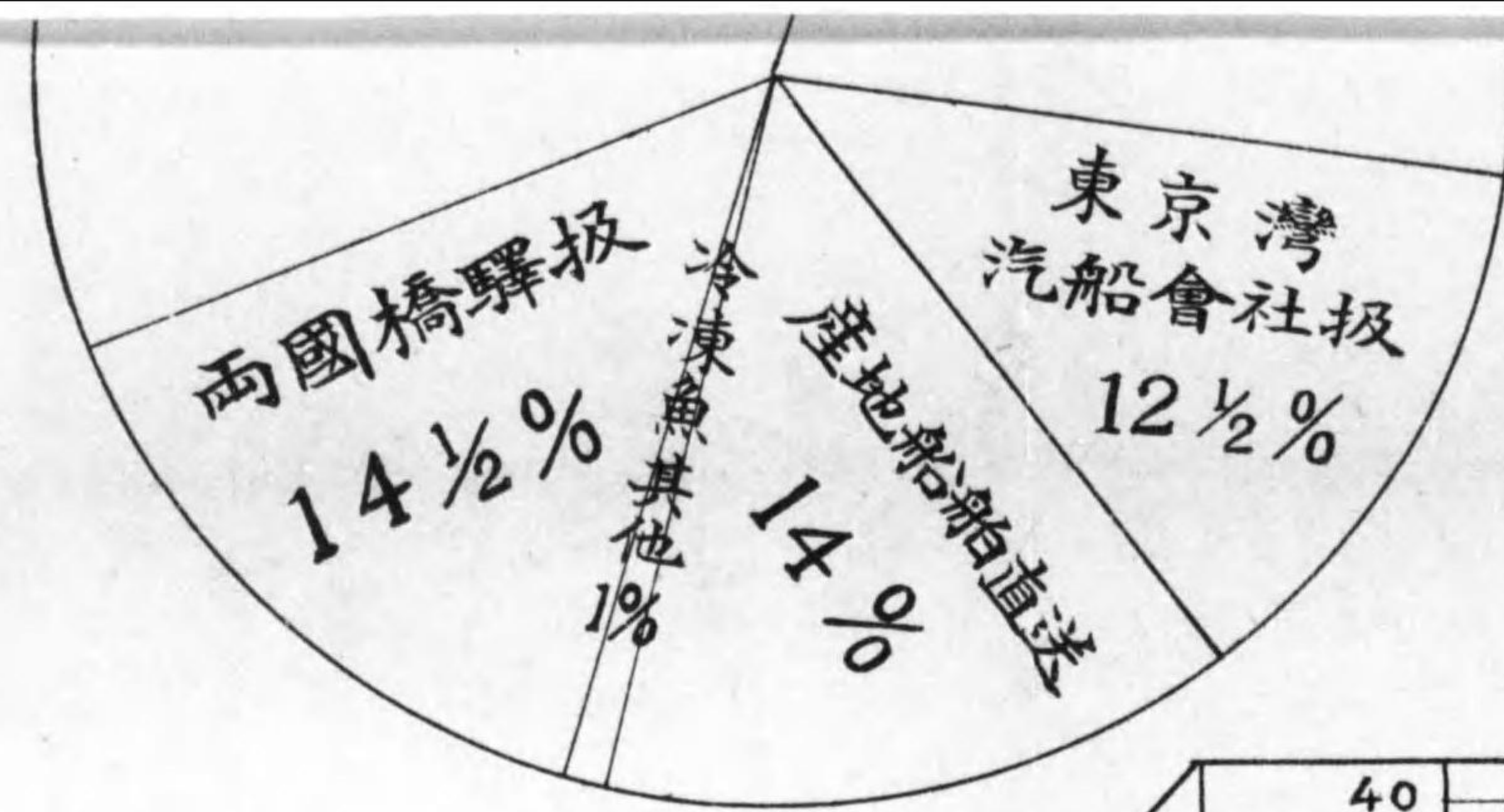
各月平均入荷表



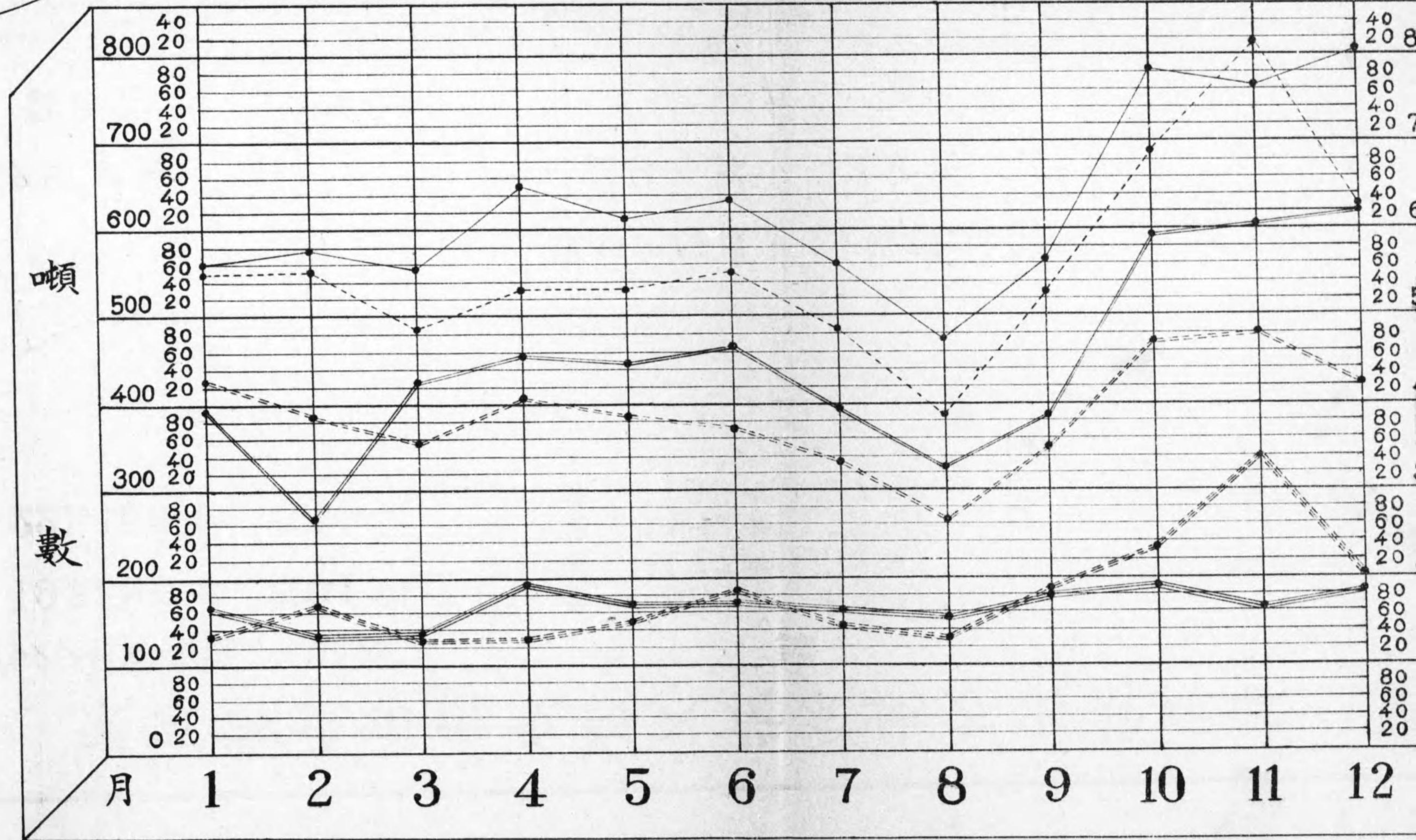
地方行内譯

1	隅田川驛仕向	2.3 %
2	兩國橋驛仕向	1.2 %
3	上野驛仕向	1.8 %
4	汐留驛仕向	.6 %
5	飯田町驛新宿驛仕向	1.6 %
6	消費地自動車直送	2.7 %
7	其他驛仕向	1.8 %

各月ノ實際取引日數ヲ以テ算ス
 (——)ハ入荷總噸數ヲ (——)ハ陸運ニヨル(冷凍魚ヲ加算ス) (====)ハ海運ニヨル入荷
 總噸數ヲ示シ 實線ハ昭和二年ヲ点線ハ昭和元年ヲ示ス



各月平均入荷表



備考 各月ノ實際取引日數ヲ以テ算ス

(——)ハ入荷總噸數ヲ (——)ハ陸運ニヨル (冷凍魚ヲ加算ス) (——)ハ海運ニヨル入

總噸數ヲ示シ 實線ハ昭和二年ヲ点線ハ昭和元年ヲ示ス

14.4
691

正誤表

頁	段	行	誤	正
一	下	一七	水運	又水運
同	右側	七棟八棟	點線	削除
同	同	十一棟十三棟中間	點線	十二棟上部沿ヒ細長ク點線ヲ存シ
同	同	十一棟上部	點線	其他ハ全部削除
七	下	二	走リも	十一棟上部沿ヒ點線ヲ細長ク加フ
八	下	一	至つ	走リは
一五	下	九	最は	至つた
二五	下	九	五二四	最少は
二六	上	一〇	五三八	五三
二七	上	一〇	六	六
三四	上	一〇	四、三〇	四、三〇
三八	上	一〇	八、三	八一
七九	上	一〇	一九、九	九九

終

